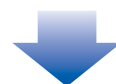
かんたん設置ガイド

JUSTIO 複合機

MFC-7840W

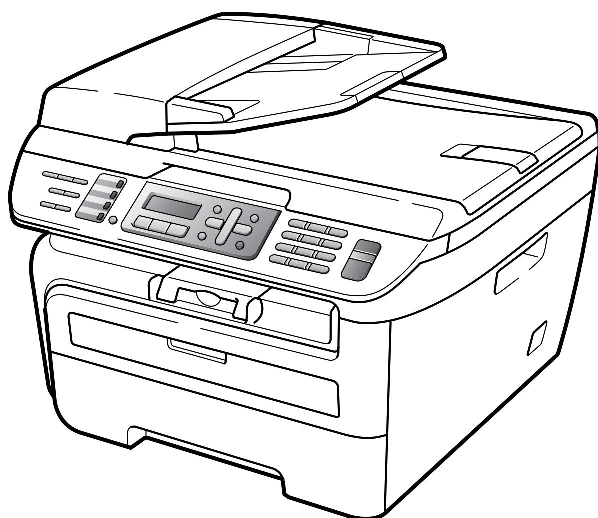


はじめにお読みください

本製品を使用するには、本製品の設定を行い、お使いのパソコンにドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。正しい設定とインストールのために、この「かんたん設置ガイド」を必ずお読みください。



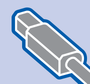
付属のCD-ROMから「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を見ることができます。本製品の使い方やネットワーク、ソフトウェアの設定など知りたい情報をすばやく探せます。使い方はユーザーズガイドを参照してください。



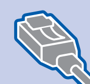
STEP1 接続・設置する

STEP2 パソコンに接続する

Windows®



USB接続

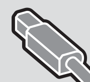


LAN接続

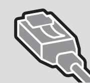


無線LAN接続

Macintosh®



USB接続



LAN接続



無線LAN接続

付　録

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド(印刷版) 6章「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー [検索] ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

Version 0 JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』（本書）をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド（本書）

- 設置する
- パソコンへの接続
- ドライバ、ソフトウェアのインストール

ファクス/コピーの基本的な使い方を知りたい

■ユーザーズガイド

- ファクスを送る
- コピーする
- トラブル対処/お手入れ方法
- 消耗品や部品の交換

※本書の内容は、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」（HTML形式）からも閲覧できます。

使いたい機能をすばやく探せます

HTML（CD-ROM）

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下の内容が含まれています

■ユーザーズガイド

- ファクス/プリンタ/コピーの使用方法
- トラブル対処方法/お手入れ方法
- 消耗品や部品の交換

■パソコン活用ガイド

- プリンタとして使う
- スキャナとして使う
- パソコンからファクスを送受信する
- Control Centerで便利に使う

■ネットワーク設定ガイド

- ネットワークにつないで使う
- ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

パソコンにドライバをインストールするとWindows®のスタートメニューから「画面で見るマニュアル」を閲覧できます。
[スタート]メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）]－[Brother]－「MFC-XXXX」－[画面で見るマニュアル（HTML形式）]を選んでください。

Macintosh®の場合

1. 付属のCD-ROMをMacintosh®のCD-ROMドライブにセットする。
2. 「Documentation」をダブルクリックする。
3. 「MFC-XXXX_JpnTop.html」*をダブルクリックする。
◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

*「XXXX」はモデル名です。

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

PDF

- ■パソコン活用ガイド
- ■かんたん設置ガイド
- ■ネットワーク設定ガイド
- ■ユーザーズガイド

最新のドライバや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的におこなっております。
最新のドライバやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルのあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。



ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/　へ

目　次

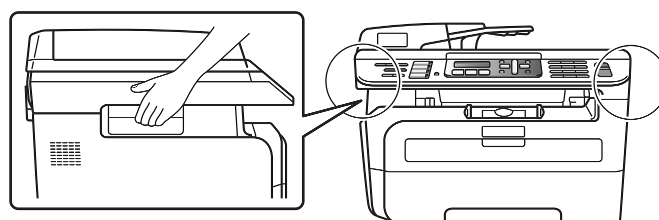
- ■ 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。
- ■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口」までご連絡ください。
- ■ お客様または第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ■ 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- ■ 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（ユーザーズガイド「電話帳リストを印刷する」、「メモリーに受信したファクスを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ■ ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（0120-118-825）へご注文ください。（土、日、祝日、長期休暇を除く　9:00～12:00　13:00～17:00）

本書の表記

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	ユーザーズガイド（印刷版）の参照先を記載しています。
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。

注 意

本製品を持ち運ぶときは、図のように本製品の両脇を持ってください。
本製品をの底面を持たないでください。





接続・設置する

1 付属品を確認する

箱の中に次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りないものがあったりユーザーズガイドに落丁があったときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

1. ADF(自動原稿送り装置)
2. 操作パネル
3. 排紙ストッパー
4. 手差しスロット
5. 記録紙トレイ
6. フロントカバー
7. 電源スイッチ
8. 原稿ストッパー
9. 原稿台カバー
10. 原稿サブトレイ
11. 原稿ガイド

CD-ROM（2枚） Windows®用 Macintosh®用	かんたん設置ガイド （本書）	ユーザーズガイド	ドラムユニット （トナーカートリッジ入り）
電源コード	電話機コード	保証書	

警告

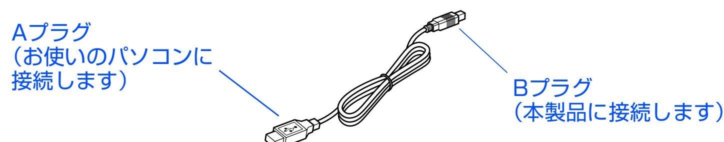
製品を梱包しているビニール袋は幼児の手の届くところに置かないでください。
誤ってかぶると窒息のおそれがあります。

注意

■箱や梱包材は廃棄せず、必ず大切に保管してください。

■本製品とパソコンをつなぐケーブルは同梱されておりません。次のいずれかのケーブルをお買い求めの上、お使いください。

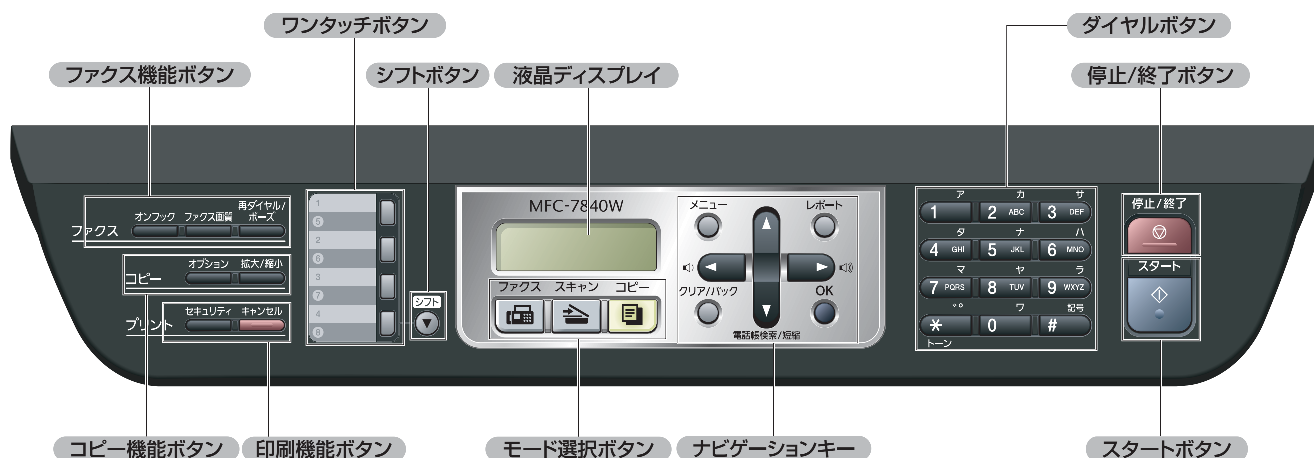
- USBケーブル
  USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
  バスパワーのUSBハブやMacintosh®のキーボードなどのUSBポートに接続しないでください。
  パソコン本体のUSBポートに接続されているか確認してください。



- LANケーブル
  カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXのストレートケーブルをお使いください。

2 操作パネル

操作パネルでは、機能の設定や指示を行ったり、本製品の状況を確認することができます。
詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「各部の名称」を参照してください。

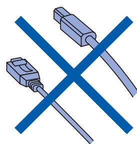


3 ドラムユニットを取り付ける

箱から本製品を取り出したあと、付属のドラムユニットを取り付けます。

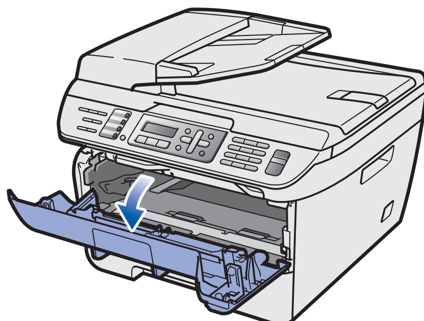
注意

この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。

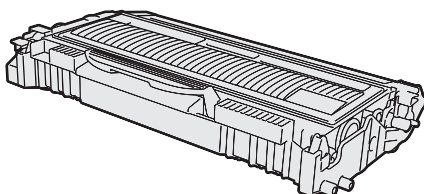


1 本製品に貼られている青色のテープをはがす

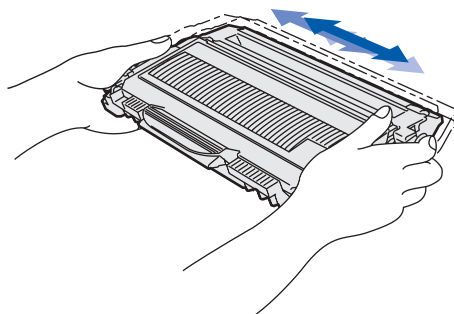
2 フロントカバーを開く



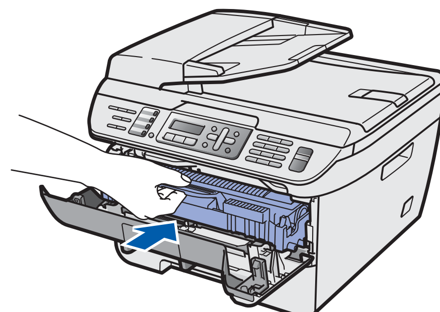
3 ドラムユニットを袋から取り出す

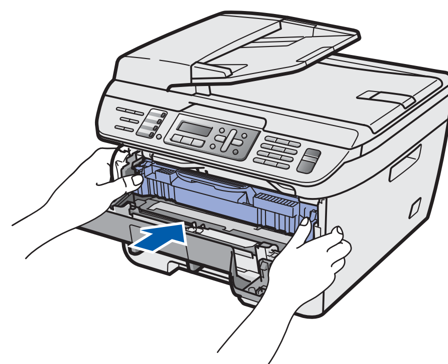


4 トナーカートリッジ内で均一に分散するように、左右にゆっくりと5、6回振る

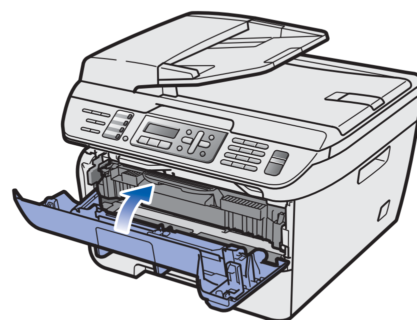


5 ドラムユニットとトナーカートリッジを取り付ける



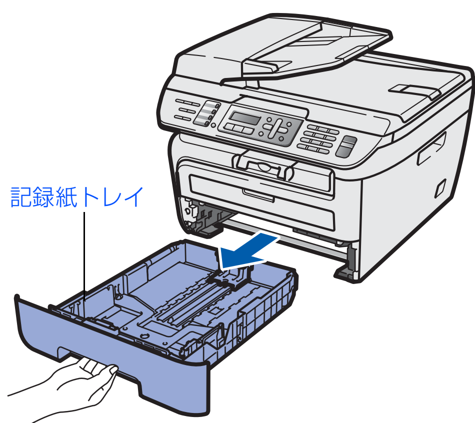


6 フロントカバーを閉じる



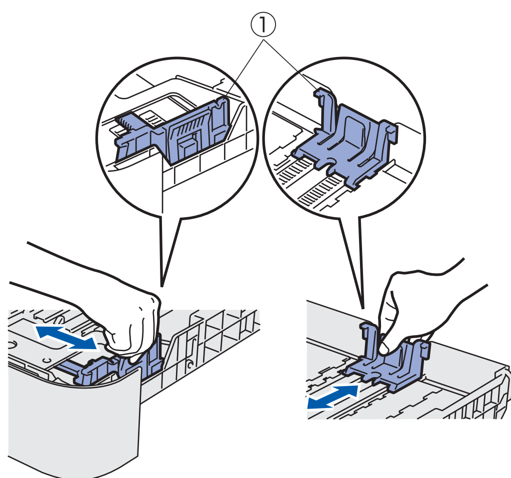
4 記録紙をセットする

1　記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

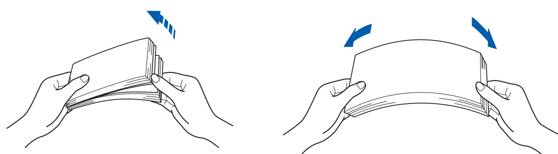


2　記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

- レバー①をつまみながら使用する記録紙のサイズに合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

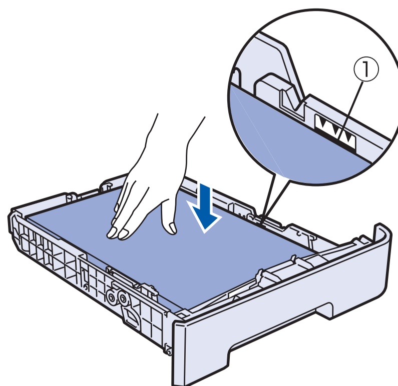


3　紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4　印刷面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼マーク①より下の位置にあることを確認してください。



注意

■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

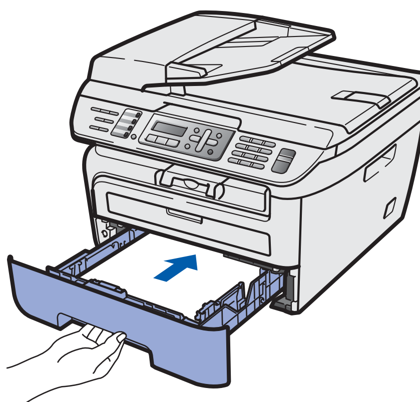
■記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

補足

●はがきは約30枚までセットできます。

●A4(80g/m^{2}の普通紙)で約250枚までセットできます。

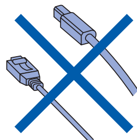
5　記録紙トレイを本製品に戻す



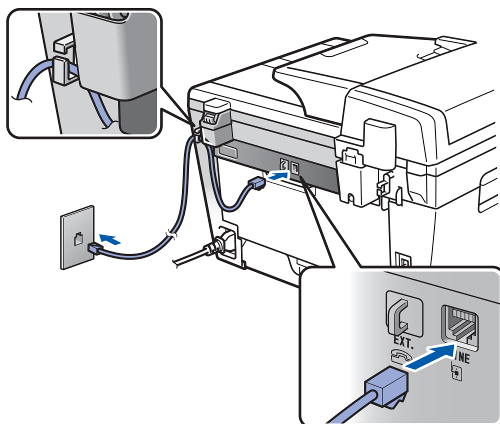
5 電話機コードを接続する

注意

この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。



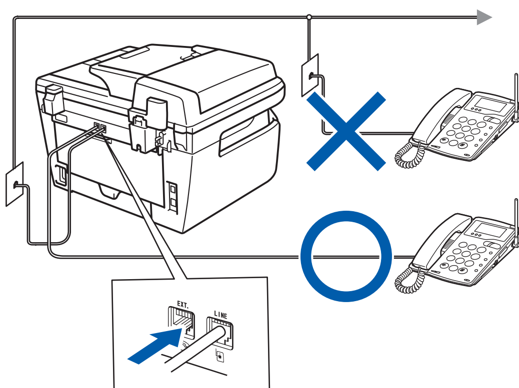
1 電話機コードの一方を背面の「LINE」端子に差し込み、もう一方を壁側の電話機コンセントに差し込む



注意

電話機コードは「EXT」端子ではなく、必ず「LINE」端子に接続してください。

- お使いの電話機を本製品と接続してご使用になる場合は、本製品背面の外付電話端子（EXT.）に付いているキャップをはずして接続します。



- 本製品に接続した電話機を外付電話機と呼んでいます。

注意

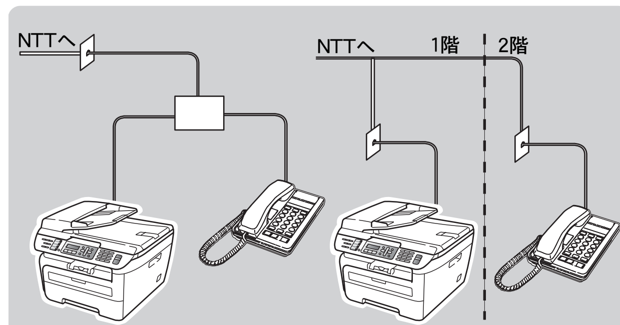
■ 外付電話端子に接続できる電話機は、1台だけです。

■ファクス付き電話は接続できません。

■ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付け電話機として接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「外付け電話優先」にしてください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」をご覧ください。

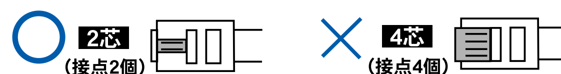
■ブランチ接続（並列接続）はしないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- 並列電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンなどのサービスが正常に動作しません。



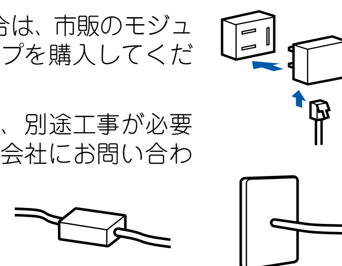
補足

●付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2 芯の電話機コードをお使いください。6 極4 芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。



●3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。

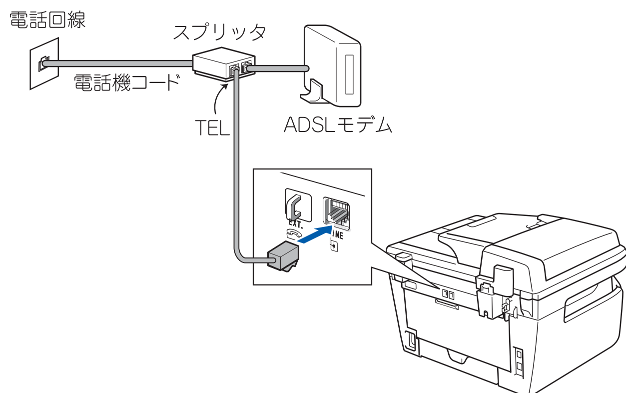
●直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。



いろいろな接続

ADSLをご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品をADSLスプリッタのTEL端子またはPHONE端子に接続してください。
スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。



補足

- ●お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- ●詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ●ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

■ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本製品とADSLモデムは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

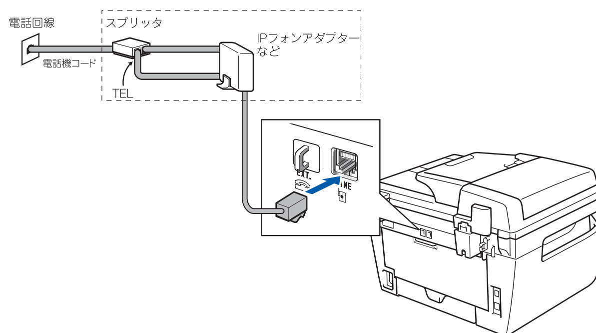
●IPフォンなどのIP網をご利用の場合

(1) IPフォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。

(2) IP網を使用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。



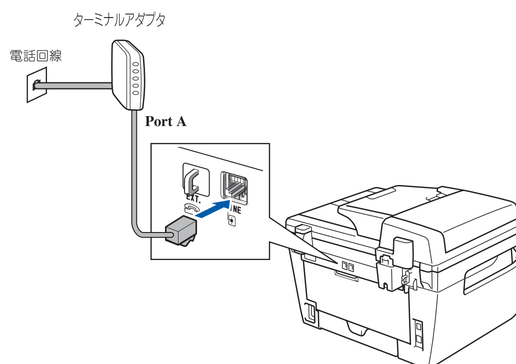
ISDNをご利用の場合

本製品をISDN回線のターミナルアダプタに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
  回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプタ ：
  本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

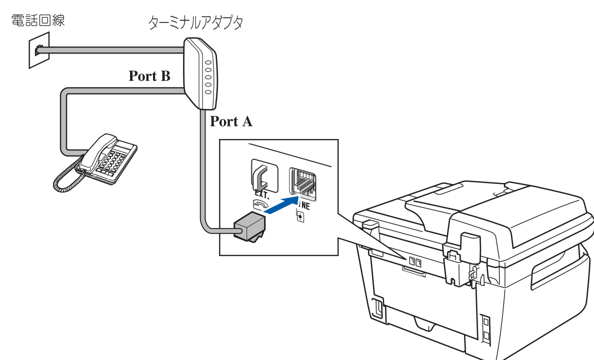
●電話番号が1つの場合

本製品をターミナルアダプタのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



●電話番号が2つの場合

本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。2回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。



詳しい設定については、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

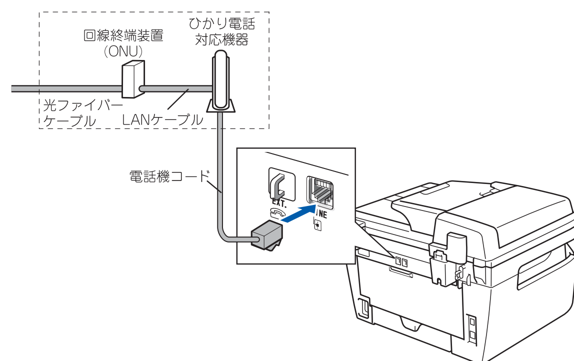
注意

■ISDN回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「特別設定について」－「特別回線対応を設定する」をご覧ください。

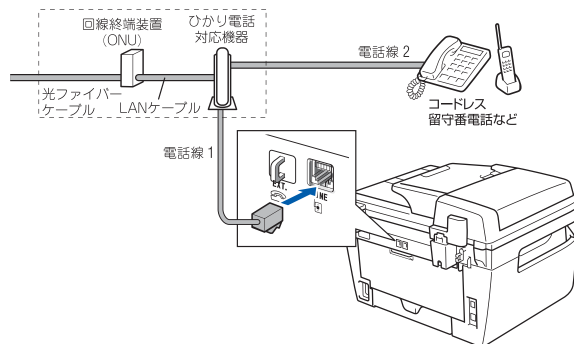
■本製品が使用できないときは、ユーザーズガイド（印刷版）の「故障かな？と思ったときは」をご覧ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」をご覧ください。

ひかり電話をご利用の場合



● ひかり電話で複数番号を使う場合



注意

■ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。

■特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

補足

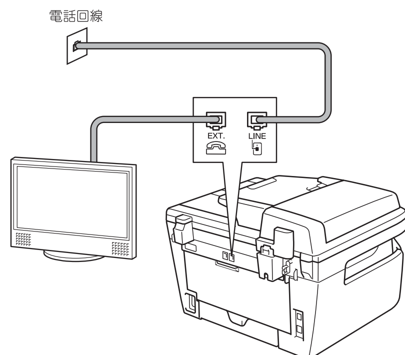
●ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。

●回線終端装置（ONU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

●お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

デジタルテレビを接続する場合

本製品とCSチューナーやデジタルテレビを接続するときは、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続してください。



構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

■構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください

■着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「特別設定について」－「特別回線対応を設定する」をご覧ください。

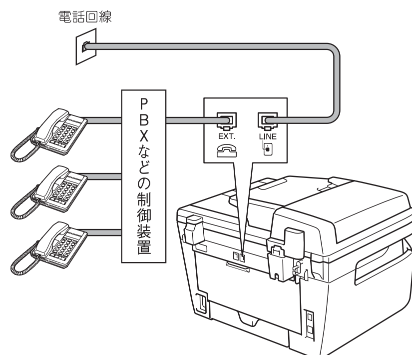
補足

●ビジネスホンとは
電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

●ホームテレホンとは
電話回線1、2本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

●本製品の外付け電話としてホームテレホン、ビジネスホンを接続する

本製品の外付電話端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続してください。

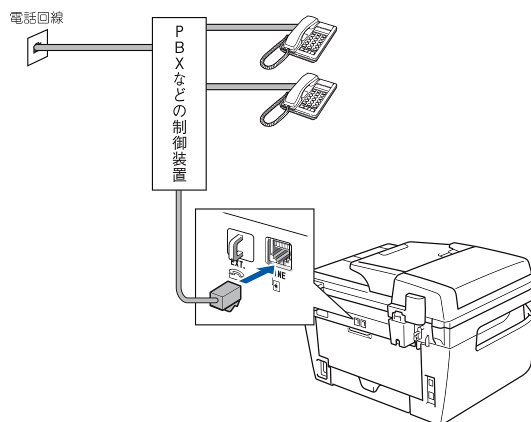


●本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

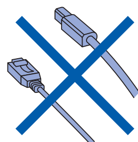
■本製品の特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「特別設定について」－「特別回線対応を設定する」をご覧ください。



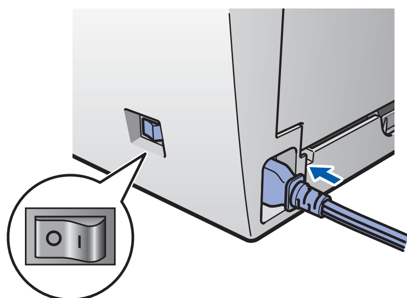
6 電源コードを接続する

注意

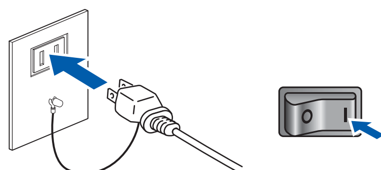
この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。



1 電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する



2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする



- 回線種別の自動設定が始まります。
- 自動設定が終わると、設定された回線種別が２秒間液晶ディスプレイに表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPSﾃﾞｽ

警 告

- 感電や火災防止のため、電源コード（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。
- 感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

注意

■右記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

電話機ｺｰﾄﾞを
接続してください

正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別はプッシュ回線に設定されます。

電話機コード接続しない場合は 停止/終了 を押してください。

■自動で回線種別が設定できなかったときは、2秒間右記のメッセージが表示されます。手動で回線種別を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「手動で回線別を設定する」を参照してください。

設定できませんでした

■構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。自動で回線種別の設定ができなかったときは、手動で回線種別を設定してください。

■ダイヤル回線10PPSを使用しているときは、必ず手動で回線種別を設定してください。

補足

本製品を、電話回線に接続せずに使用する（コピー、プリンタ、スキャナなどとして使用する）ときは、手動で回線種別を設定します。詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第１章「手動で回線別を設定する」を参照してください。どの回線種別を設定しても構いません。

7 日付と時刻をセットする（時計セット）

日付と時刻をセットします。ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 2 ABC を押す

```
初期設定
2.時計ｾｯﾄ
```

2 年号（西暦の下２桁）を入力して OK を押す

例：2008年の場合は「08」

```
時計ｾｯﾄ
年:2008
```

3 月を2桁で入力して OK を押す

例：8月の場合は「08」

```
時計ｾｯﾄ
月:08
```

4 日付を2桁で入力して OK を押す

例：21日の場合は「21」

```
時計ｾｯﾄ
日付:21
```

5 時刻（24時間制）を入力して OK を押す

例：午後3時25分の場合は「1525」

```
時計ｾｯﾄ
時刻:15:25
```

6 停止/終了 を押す

補足

入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、正しい文字を入力し直してください。

8 名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 3 DEF を押す

初期設定
3.発信元登録

2 ファクス番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

発信元登録
ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX

3 電話番号を入力して OK を押す

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。
- ファクス番号と電話番号が同じときは同じ番号を入力してください。

発信元登録
電話:03XXXXXXXX

4 名前を入力して OK を押す

20文字まで登録できます。

発信元登録
名前:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

5 停止/終了 を押す

補足

入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。

詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第7章「文字を入力する」を参照してください。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

補足

入力できる文字の種類は、設定項目によって異なります。

ボタン	入力できる文字
1 (ア)	アイウエオァィゥェォ１
2 ABC (カ)	カキクケコＡＢＣ２
3 DEF (サ)	サシスセソＤＥＦ３
4 GHI (タ)	タチツテトッ ＧＨＩ４
5 JKL (ナ)	ナニヌネノＪＫＬ５
6 MNO (ハ)	ハヒフヘホＭＮＯ６
7 PQRS (マ)	マミムメモＰＱＲＳ７
8 TUV (ヤ)	ヤユヨャュョ ＴＵＶ８
9 WXYZ (ラ)	ラリルレロＷＸＹＺ９
0 (ワ)	ワヲンー０
＊ (゛゜)	゛゜
# (記号)	. @ - _ ' （スペース）: ; ＜＝＞？[ ] ^ ! " # $ % & ( ) * + , /　€

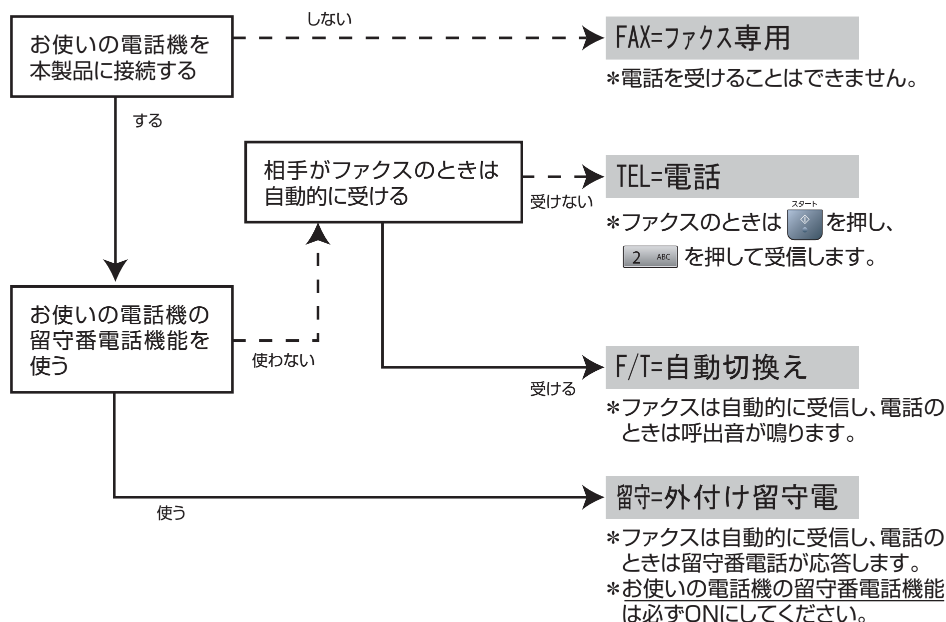
文字の変更のしかた

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1 ～ 0、＊、# を押す
文字を削除する	クリア/バック を押すと、カーソルが文字列の最後の後方にあるときはカーソルの左の1文字を削除します。カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除します。
文字を挿入する	◀ を押してカーソルを戻し、文字を入力する
スペース（空白）を入れる	▶ を押してカーソルを右に移動させる （文字のときは ▶（2回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	# を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押してカーソルを１文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OK を押す

9 受信モードを選ぶ

お使いの電話機を本製品に接続するかどうか、また電話機の留守番電話機能を使うかどうかによってファクスの受信のしかたを設定します。設定する受信モードは以下の図を見て選んでください。



詳しくは、ユーザーズガイド（印刷版）の第1章「受信モードについて」を参照してください。

1 メニュー 0 1 を押す

```
受信ﾓｰﾄﾞ
FAX=ﾌｧｸｽ専用
```

2 ▲または▼で受信モードを選択する

「FAX=ﾌｧｸｽ専用」、「F/T=自動切換え」、「留守=外付け留守電」、「TEL=電話」の中から選択します。

3 OK を押す

4 停止/終了 を押す

STEP2

パソコンに接続する(Windows®)

本製品をパソコン（Windows®）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
Macintosh®をお使いの場合は、「STEP2 パソコンに接続する（Macintosh®）」P.41 を参照してください。

1 インストールの前に

本製品をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROMに収録されている内容とパソコンの動作環境 P.65 を確認してください。

CD-ROMの内容



インストール

本製品をより便利にお使いいただくために以下のソフトウェアをインストールします。

- Presto!® PageManager®
  TWAIN/WIA準拠の画像管理用ソフトウェアです。
- ControlCenter3
  スキャナ機能や PC ファクス機能などさまざまな機能の入り口となるソフトウェアです。
- TrueType®フォント
  ブラザーオリジナルの日本語フォントです。インストール時に［カスタム］を選ぶと、インストールできます。

その他ソフトウェアとユーティリティ

各種ドライバ、ソフトウェアを追加インストールできます。

- BRAdmin Light
  ネットワークプリンタなどネットワーク上で使用する機器を管理できるソフトウェアです。
- オートマチックドライバインストーラ
  ネットワーク環境で本製品を使う場合に便利なツールです。
- NewSoft® Presto!® Image Folio
  画像を編集できるソフトウェアです。

画面で見るマニュアル

以下のユーザーズガイドがパソコン上で閲覧できます。

- 画面で見るマニュアル（HTML形式）

オンラインユーザー登録

オンラインでユーザー登録を行います。

サービスとサポート

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページへリンクします。
- ソリューションセンター
  インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。
- 消耗品情報
  インターネット経由で消耗品の購入に関する情報を確認できます。

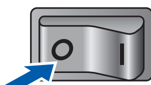
修復インストール

ドライバのインストールがうまくいかなかった場合にクリックすると、ドライバを自動的に修復します。
（※USBケーブルで接続している場合に使用できます。）

2 ドライバとソフトウェアをインストールする(USB)

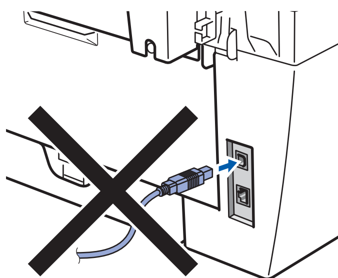
USBケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

1 本製品の電源スイッチをOFFにする



注意

■USBケーブルが接続されている場合は、USBケーブルを本製品から外してください。

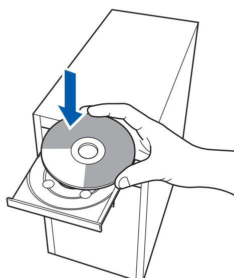


2 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

メイン画面が表示されます。



補足

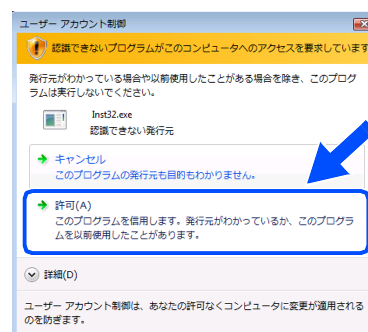
画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

4 ［インストール］をクリックする

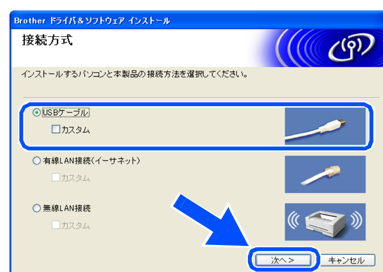


ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

- Windows Vista®で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。



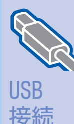
5 ［USBケーブル］を選択し、［次へ］をクリックする

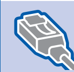


接続・設置する

パソコンに接続する

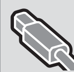
Windows®

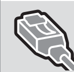

USB接続


LAN接続


無線LAN接続

Macintosh®


USB接続

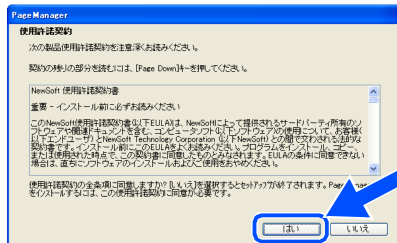

LAN接続


無線LAN接続

付 録

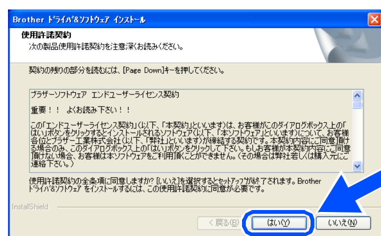
☞次ページへ続く

6 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、[はい] をクリックする

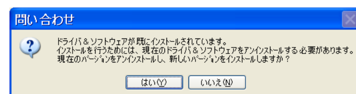


- Presto!® PageManager® がインストールされます。
- Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

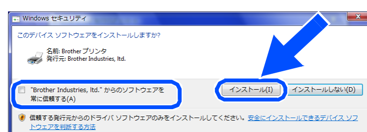
7 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックする



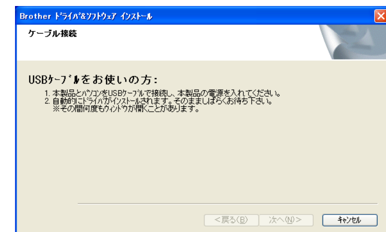
- ウインドウが何度も開いたり、ディスプレイが何度もついたり消えたりする場合もありますが、そのまましばらくお待ちください。
- 以下の画面が表示されたときは、[はい] をクリックして古いバージョンのドライバとソフトウェアをアンインストールしてください。



- Windows Vista® で次の画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックして、[インストール] を選択します。

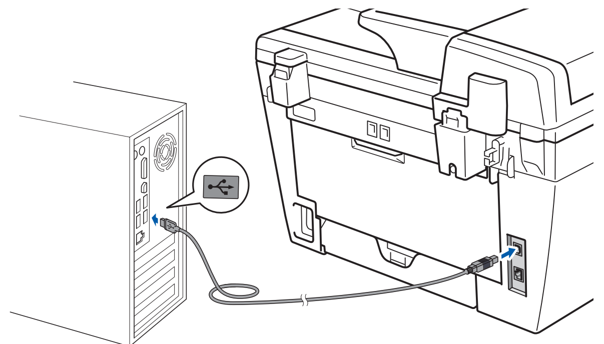


8 ケーブル接続画面が表示される



9 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続する

- パソコンにUSBケーブルを接続します。
- 本製品にUSBケーブルを接続します。



補足

- USBケーブルコネクタ部分のラベルは、はがしてから接続してください。
- USBケーブルは、同梱されていません。
- USB ケーブルは、長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- キーボードの USB ポートおよび電源のない USB ハブには接続しないでください。

10 本製品の電源スイッチをONにする

電源スイッチをONにすると、インストールが継続されます。
インストール画面が表示されるまでに数秒かかります。

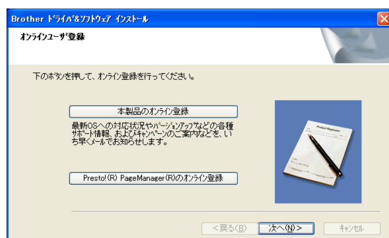


補足

自動的にインストールが再開されます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

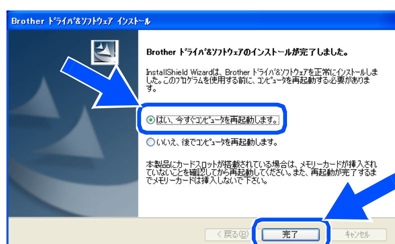
11 ユーザー登録をする

［本製品のオンライン登録］や［Presto!(R) PageManager(R)のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。



12 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

13 ［はい］を選択して［完了］をクリックする



補足

再起動後、インストールに失敗したときは、画面にインストール失敗のメッセージが表示されます。表示されたときは、画面に表示されている手順に従うか、または［スタート］－［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-7840W］－［オンライン Q&A］を参照してください。

OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適したプリンタドライバです。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

3 ドライバとソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項

パーソナルファイアフォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワーク PC ファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

ネットワーク環境で複数のパソコンから使用する場合

ADSLや光ファイバー、ケーブルテレビ（CATV）などのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●一般的なADSL環境での接続例	
公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル ADSLモデム ※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。	公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル LANケーブル LANケーブル ADSLモデム ルータ
●光ファイバー環境での接続例（NTT東日本、KDDIひかりOne、Yahoo!BBフォン光など）	
電話機コード 光ファイバーケーブル LANケーブル 回線終端装置（ONU） ひかり電話対応機器 LANケーブル	電話機コード LANケーブル 光ファイバーケーブル LANケーブル LANケーブル LANケーブル 回線終端装置（ONU） ひかり電話対応機器

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●光ファイバー環境での接続例（NTT西日本）	
光ファイバーケーブル / 回線終端装置（ONU） / LANケーブル / ひかり電話対応機器 / 電話機コード / LANケーブル	ひかり電話対応機器 / 光ファイバーケーブル / LANケーブル / 電話機コード / 回線終端装置（ONU） / LANケーブル / ルータまたはハブ / LANケーブル / LANケーブル / LANケーブル
●一般的なCATV環境での接続例（J:COMなどのケーブルテレビ局）	
同軸ケーブル / 分配器 / 同軸ケーブル / VP（RSU） / 電話機コード / 同軸ケーブル / ケーブルモデム / LANケーブル	同軸ケーブル / 分配器 / 同軸ケーブル / VP（RSU） / 電話機コード / 同軸ケーブル / ケーブルモデム / LANケーブル / ルータまたはハブ / LANケーブル / LANケーブル / LANケーブル

補足

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

- スプリッタ
  電話（音声）信号とADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）やFAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ルータまたはハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

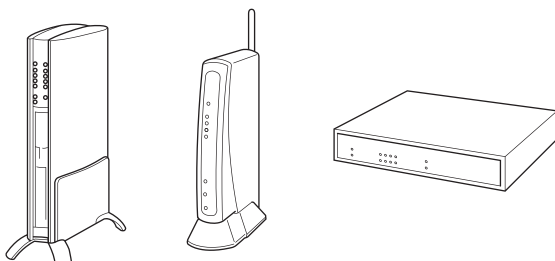
※ご利用の電話会社により、接続する機器の名称が異なることがあります。

☞次ページへ続く

ネットワーク環境に必要なものの準備

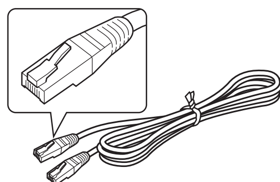
1 ルータ

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。



2 LANケーブル

本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXストレートケーブルをお使いください。



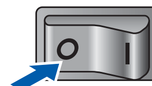
補足

- ●本製品を無線LANで使用する場合、無線LANアクセスポイント（無線LANルータ）または無線LAN対応のパソコンが必要です。
- ●ルータの導入・接続方法については、お使いのルータのユーザーズガイドをご覧ください。
- ●モデム・光終端装置（ONU）などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。
- ●光ファイバーをご利用の場合は、ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

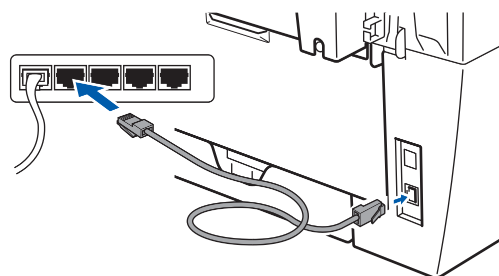
ドライバのインストール

インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

1 本製品の電源スイッチをOFFにする



2 本製品とルータをLANケーブルで接続する



補足

LANケーブルは、同梱されていません。

3 本製品の電源スイッチをONにする

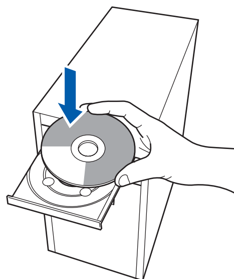


4 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

5 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

メイン画面が表示されます。



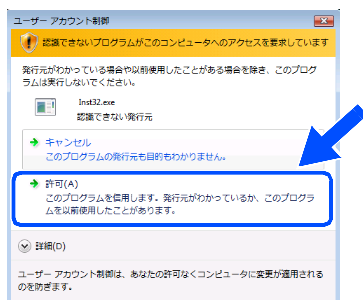
補足
画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

6 ［インストール］をクリックする



ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

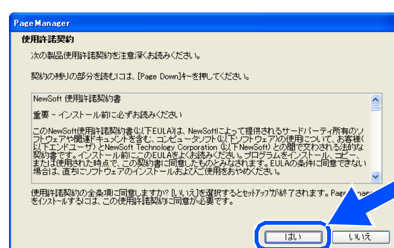
- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。



7 ［有線LAN接続（イーサネット）］を選択し、［次へ］をクリックする

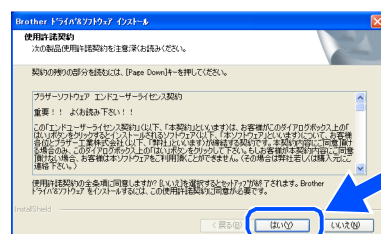


8 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

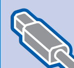
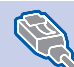


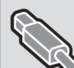
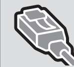
- Presto!® PageManager® がインストールされます。
- Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

9 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする



- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

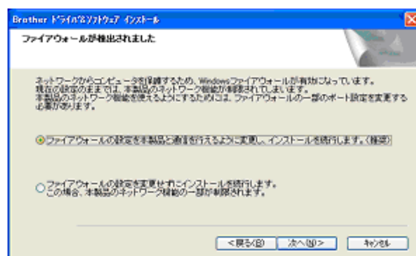
接続・設置する
パソコンに接続する
Windows®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続
Macintosh®

USB接続

LAN接続

無線LAN接続
付録

☞次ページへ続く

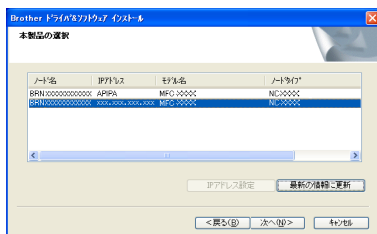
10 Windows® XP SP2/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®をお使いの方で、以下のスクリーンが表示されたら、[ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します］を選択し、［次へ］をクリックする



パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を使用している方は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワーク PC ファクス受信：UDP ポート 54926
- これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

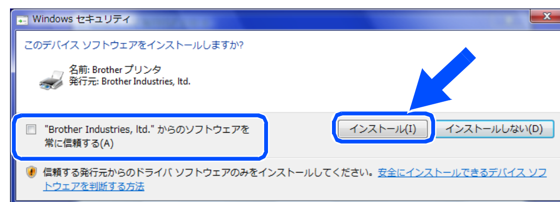
11 ネットワーク上に複数のブラザー製品が接続されている場合は、リストから使用する機器を選択する



- 画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、［IPアドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。

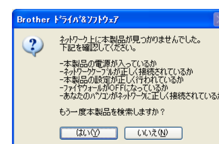
補足

Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］を選択し、インストールを完了させてください。



注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

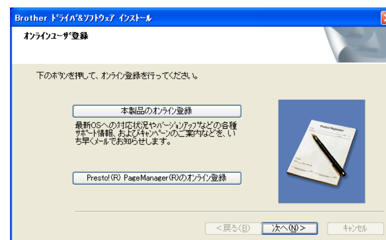


■それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■IP アドレスを調べるときは「LAN 設定内容リスト」を印刷します。印刷方法は「LAN設定内容リストの出力」P.64を参照してください。

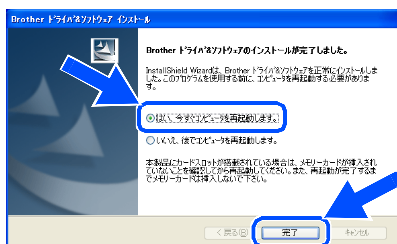
12 ユーザー登録をする

［本製品のオンライン登録］や［Presto!(R) PageManager(R)のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。



13 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

14 ［はい］を選択して［完了］をクリックする



OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内
XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適したプリンタドライバです。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

4 ドライバとソフトウェアをインストールする（無線LAN接続）

本製品と無線 LAN アクセスポイントを無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線LAN環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意
- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品とアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意
環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

注意

■アクセスポイントの接続、設定については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

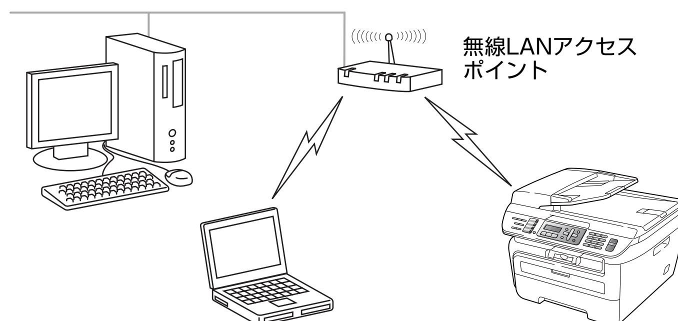
■無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.63 を参照してください。

■USBケーブルやLANケーブルが接続されている場合は、本製品から外してください。

■本製品では、有線LANと無線LANを同時に使用できません。

無線LANの接続方法

● インフラストラクチャモード
インフラストラクチャモードでは、ネットワークの中心に無線　LAN　アクセスポイントが設置され、アクセスポイントを通じて無線LANにアクセスできるようになっています。



本書では、インフラストラクチャモードの無線　LAN　環境の場合の接続方法について説明しています。その他の環境で無線LANをお使いの場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」をご覧ください。

無線LANの用語

無線LANを構成するには、お使いのコンピュータを既存の無線LAN設定に合わせます。ここでは、無線LANの構成に役立つ用語と概念を説明します。

SSID（ネットワーク名）とチャンネル

無線LANの接続先を指定するにはSSIDとチャンネルを設定する必要があります。

●SSID

それぞれの無線 LAN では独自の SSID を持っています。SSID はアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークのアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器と同じSSIDに設定してください。

●チャンネル

無線LANではチャンネルを使用します。IEEE802.11bでは14チャンネル、IEEE802.11gでは13チャンネルまで使用できますが、近所で無線LANアクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル間を5チャンネル離して設定するのが理想的です。

認証方式と暗号化方式について

有線 LAN とは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線 LAN 環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。

本製品を無線LANに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。

ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

●認証方式

本製品がサポートする認証方式は次の通りです。

- オープンシステム：
  認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。
- 共有キー：
  あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。
  本製品では共有キーとしてWEP-Keyを使用しています。
- WRA-PSK/WPA2-PSK：
  定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSKによる認証を使用する場合には、接続する相手の機器もWRA-PSK/WPA2-PSKに対応している必要があります。
  WPA2-PSKは、WPA-PSK方式よりセキュリティの高い認証方式になっています。
- LEAP：
  Cisco LEAP（ライト拡張認識プロテクト）は、認証用にユーザー IDとパスワードを使用します。

●暗号化方式

本製品は下記の暗号化方式をサポートしています。

無線LANの用語

- なし：
  暗号化を行いません。
- WEP：
  Wired Equivalency Protocolの略。無線LANの暗号化技術です。
  無線 LAN での通信は傍受（内容を盗み見られること）が容易なため、送信されるデータを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線LANでの通信と同様の安全性を持たせます。
- TKIP：
  Temporal Key Integrity protocolの略。暗号キーの更新も含めて、重要データの暗号化を強化します。
  無線LANのセキュリティ保護に使用される次世代のWEPで、WEPの弱点を修正しています。

☞次ページへ続く

- AES：
  Advanced Encryption Standardの略。無線LANのプライバシー保護の新しい方法です。
  米国政府の次世代標準暗号化方式で、TKIPより強力な暗号化方法を提供します。
- CKIP：
  Cisco Key Integrity Protocolの略。Cisco社独自のセキュリティプロトコルです。
  キーメッセージ整合性チェックとメッセージ シーケンス番号を使用して、インフラストラクチャモードでのセキュリティを強化しています。
  CKIPはCisco版のTKIPです。

暗号化キー（ネットワークキー）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次の通りです。

- WEP暗号化方式
  WEP暗号化キーは次の規定に従い、64bitまたは128bitキーに対応する値をASCII文字か16進数フォーマットで入力します。
  - 64（40）bit　ASCII 文字：半角5文字で入力します。
    例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
  - 64（40）bit　16進数：10桁の16進数で半角入力します。
    例）"71f2234aba"
  - 128（104）bit　ASCII 文字：半角13文字で入力します。
    例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
  - 128（104）bit　16進数：26桁の16進数で半角入力します。
    例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"
- TKIP/AES暗号化方式
  PSK（事前共有キー）をASCII文字/半角8～63文字以内で入力します。
  TKIPやAESの暗号キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。
- CKIP暗号化方式
  LEAP認証用で使用するIDには64文字以内、パスワードには32文字以内のASCII文字を半角で入力します。
  CKIPの暗号化キーは、IDとパスワードなどを元に生成され、定期的に更新されます。

無線LANの設定

インストールを始める前にまず、無線LANの設定を行いアクセスポイントに接続します。本書では、次の2つの方法で無線LANを行う方法が説明されています。

●操作パネルから無線LANの設定を手動で行う

ご使用の無線LANアクセスポイントの設定を確認し、以下に記入してください。

SSID（必須）※1	
WEPキー※2、3	
WPA-PSK※3 (TKIP/AES) WPA2-PSK (AES)	

*1SSID の隠ぺい機能を有効にしている場合は、一時的に無効にしてご確認ください。
*2WEP キーは、次の規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで記入します。
- 64(40)bit ASCII 文字 : 半角 5 文字で入力します。　例）“Hello”（大文字と小文字は区別されます）
- 64(40)bit 16 進数 : 10 桁の 16 進数で半角入力します。　例）“Wirelesscomms”（大文字と小文字は区別されます）
- 128(104)bit 16 進数 : 26 桁の 16 進数で半角入力します。　例）“71f2234ab56cd709e5412aa3ba”

*3設定されていない場合は、記入する必要はありません。



■SSID や WEP キーなどの確認方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

無線LANの設定を書き留めたら、以下の手順に従って、設定を行ってください。

操作パネルから無線LANの設定を手動で行う P.34

● 無線LANの機能を使って自動で設定を行う

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、Wi-Fi Protected Setup™、SecureEasySetup™に対応している場合は、本製品の無線LAN設定を簡単に行うことができます。ご使用のアクセスポイントに以下のロゴが付いているか確認してください。付いていない場合は、手動で設定を行います。







ロゴを確認したら、以下の手順に従って、設定を行ってください。

操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する P.36



本製品をその他の環境で設定する場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意点

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。詳しくはP.24を参照してください。

操作パネルから無線LANの設定を手動で行う

本製品の操作パネルからウィザード形式で、SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを設定します。

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

■本製品の有線LANが既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（LAN 設定リセット）」P.63 を参照してください。

補足

操作パネルの文字の入力方法については、ユーザーズガイド（印刷版）の付録「文字を入力する」を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする



2 メニュー 5 JKL 2 ABC 2 ABC を押す

無線LAN
2.無線接続ｳｨｻﾞｰﾄﾞ

3 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

無線LAN有効 ?
1.ｵﾝ 2.ｵﾌ

SSIDの検索が開始されます。

SSID検索中

4 ▲または▼で接続先の SSID を選択し、OK を押す

SSIDを選択
XXXXXX

補足

接続先のSSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。

1. ▲または▼で〈New SSID〉を選択し、OK を押す
2. ダイヤルボタンで接続先のSSIDを入力し、OK を押す
3. ▲または▼で通信モードを選択し、OK を押す
［ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ］または［ｱﾄﾞﾎｯｸ］のいずれかを選択します。
※［ｱﾄﾞﾎｯｸ］を選択した場合は、手順6に進みます。

5 通信モードがインフラストラクチャの場合は、▲または▼で認証方式を設定し、OK を押す

認証方式
ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ認証 ＊

- オープンシステム認証の場合：手順 6 に進みます。
- 共有キー認証の場合：手順7に進みます。
- WPA/WPA2-PSKの場合：手順9に進みます。
- LEAPの場合：手順11に進みます。

6 ▲または▼で暗号化方式を選択し、OK を押す

暗号化方式
なし ＊

「なし」または「WEP」のいずれかを選択します。
「なし」を選択した場合は、手順13に進みます。

7 ▲または▼で使用する WEP キーを選択し、OK を押す

```
WEPｷｰ設定
ｷｰ1:
```

キーが「＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊」と表示されている場合は、「1.変更する 2.しない」と表示されるので、1 を押します。

```
ｷｰ1:XXXXXXXXXXXXXXXX
1:変更する 2.しない
```

8 暗号化キーを入力し、OK を押す

```
WEP:
```

手順12に進みます。

9 ▲または▼で暗号化方式を選択し、OK を押す

「TKIP」または「AES」のいずれかを選択します。

```
暗号化方法
TKIP                *
```

10 PSK（ネットワーク）を入力し、OK を押す

```
PSK(ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ):
```

手順12に進みます。

11 ユーザー IDを入力し、OK を押す

認証方式で「LEAP」を選択した場合に入力します。

```
ﾕｰｻﾞｰID:
```

12 ユーザーパスワードを入力し、OK を押す

認証方式で「LEAP」を選択した場合に入力します。

```
ﾕｰｻﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
```

13 1 を押す

2 ABC を押すとSSIDの選択に戻ります。手順4からやり直してください。

```
設定を適用しますか?
1.はい 2.いいえ
```

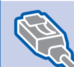
本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。

補足

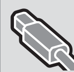
接続できなかった場合は、ネットワーク設定をリセットしP.63、手順2からやり直してください。

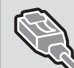
OK! **無線LANの設定は完了しました。**
続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。 P.37













操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

■本製品の有線 LAN が既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（LAN設定リセット）」P.63を参照してください。

■アクセスポイントの簡単設定の操作手順については、アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする



2 メニュー 5 JKL 2 ABC 3 DEF を押す

```
無線LAN
3.SES/WPS/AOSS
```

3 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

```
無線LAN有効 ?
1.オン 2.オフ
```

補足

一度設定に失敗しネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線LAN有効が「オン」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順4へ進んでください。

4 AOSS™、Wi-Fi Protected Setup™またはSecureEasySetup™に対応している無線LANアクセスポイントの自動検出を2分間行う

```
無線接続中
```

5 無線LANアクセスポイントを対応するモード（AOSS™、Wi-Fi Protected Setup™またはSecureEasySetup™）にする

詳しくは、アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

6 「接続しました」と表示されるまで待つ

無線 LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示されます。
これで本製品を無線LAN で使用できます。

- 「アクセスポイント複数検出」と表示された場合は、無線LANアクセスポイントを複数検出したことを示しています。
  対応するモードが実行中の無線LANアクセスポイントを2つ以上検出しています。AOSS™またはWi-Fi Protected Setup™の無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直してください。
- 「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。SecureEasySetup™で接続している場合は、無線LANアクセスポイントが複数あるかもしれません。無線LANアクセスポイントを1つにして手順2からやり直してください。
- 「無線接続中」と表示された後「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。

●操作パネルの「SES/WPS/AOSS」メニューで表示されるメッセージ

メッセージ	状態	解決方法
無線接続中	無線LANアクセスポイントを検索中	–
	無線LANアクセスポイントにアクセス中	
	無線LANアクセスポイントから設定をダウンロード中	
SES接続中 WPS接続中 AOSS接続中	無線LANアクセスポイントに接続中	–
接続しました	接続成功	–
アクセスポイント複数検出	無線LANアクセスポイントを複数検出	AOSS™またはWi-Fi Protected Setup™の無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直す。
接続 失敗	接続失敗	• 手順2からやり直す。 • やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットし P.63 を、手順2からやり直す。
	「無線接続中」表示後に、このメッセージが表示された場合 「接続失敗」	
	無線LANアクセスポイントを複数検出	SecureEasySetup™の無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直す。

OK! **無線LANの設定は完了しました。**
続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。 P.37

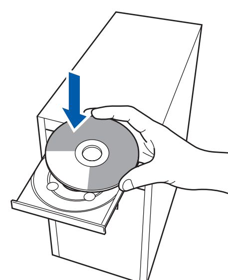
ドライバのインストール

1 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

メイン画面が表示されます。



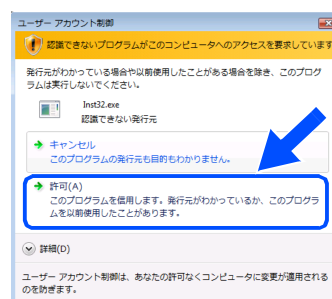
補足
画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROMドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。

3 ［インストール］をクリックする

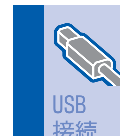


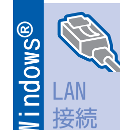
ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

• Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

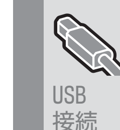


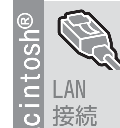
☞次ページへ続く





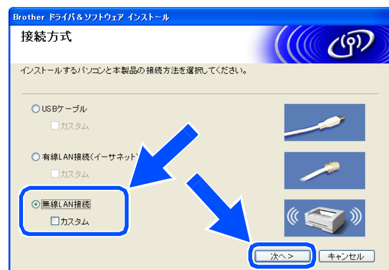




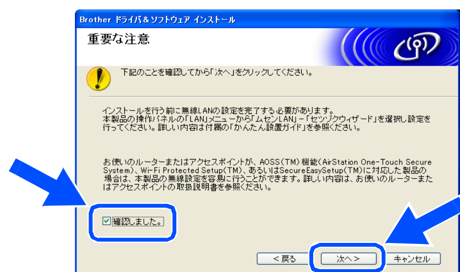




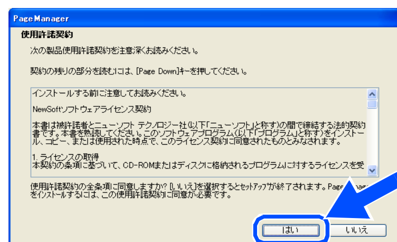
4 ［無線LAN接続］を選択し、［次へ］をクリックする



5 ［確認しました。］をチェックし、［次へ］をクリックする

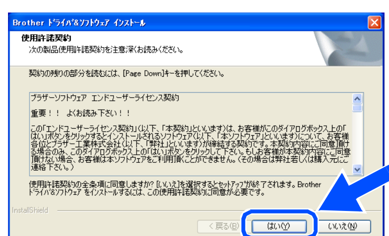


6 Presto!® PageManager® の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする



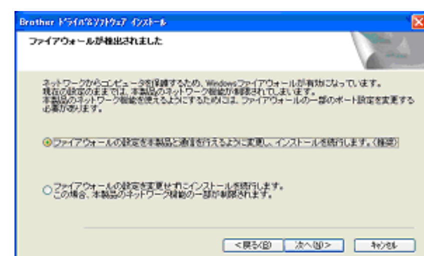
- Presto!® PageManager® がインストールされます。
- Presto!® PageManager® のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

7 使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする



- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- このとき、ウィンドウが何度も開く場合がありますが、次のユーザー登録画面が表示されるまで、そのまましばらくおまちください。

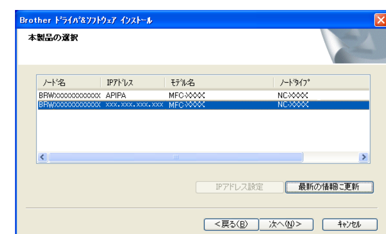
8 Windows® XP SP2/XP Professional x64 Edition/Windows Vista® をお使いの方で、以下のスクリーンが表示されたら、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します］を選択し、［次へ］をクリックする



パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を使用している方は、以下のネットワークポートを追加してください。追加方法については、お使いのファイアウォールソフトの取扱説明書をご覧ください。

- ネットワークスキャン：UDPポート 54925
- ネットワーク PC ファクス受信：UDP ポート 54926
- これらを追加してもネットワーク接続の問題が解決しない場合：UDPポート 137

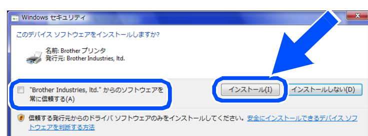
9 ネットワーク上に複数のブラザー製品が接続されている場合は、リストから使用する機器を選択する



- 画面のIPアドレス欄にAPIPAと表示された場合は、［IPアドレス設定］をクリックし、お使いのネットワーク上での本製品のIPアドレスを入力します。

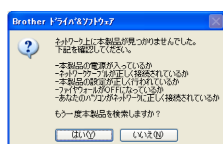
補足

Windows Vista®をお使いの場合、以下の画面が表示されたら、チェックボックスをクリックして［インストール］を選択し、インストールを完了させてください。



注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。

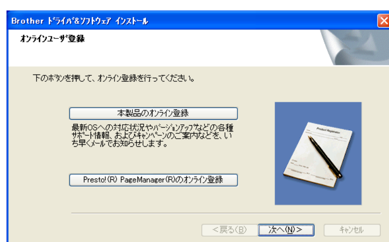


■それでも検索されない場合は、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示にしたがって、IPアドレスなどを設定してください。

■IP アドレスを調べるときは「LAN 設定内容リスト」を印刷します。印刷方法は「LAN設定内容リストの出力」P.64 を参照してください。

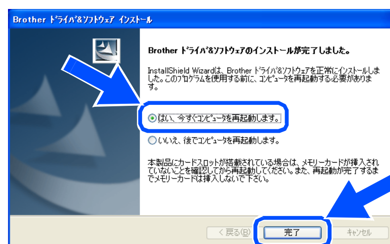
10 ユーザー登録をする

［本製品のオンライン登録］や［Presto!(R) PageManager(R)のオンライン登録］をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。



11 ユーザー登録が終わったら［次へ］をクリックする

12 ［はい］を選択して［完了］をクリックする



OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification文書をプリントするのに適したプリンタドライバです。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

STEP2 パソコンに接続する(Macintosh®)

本製品をパソコン（Macintosh®）に接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
Windows®をお使いの場合は、「STEP2 パソコンに接続する(Windows®)」P.19を参照してください。







1 インストールの前に

CD-ROMの内容



Start Here OS X
本製品のプリンタやスキャナ、PCファクス、リモートセットアップ機能を使用するために必要なドライバをインストールします。
Presto! PageManager
TWAIN準拠のスキャナソフトウェアをインストールします。
Documentation
以下のユーザーズガイドがMacintosh®上で閲覧できます。 • 画面で見るマニュアル（HTML形式）
Brother Solutions Center
インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
On-Line Registration
オンラインでユーザー登録を行います。
Utilities
無線LAN設定ウィザードが収録されています。
Fonts
ブラザーオリジナルの日本語フォントが収録されています。

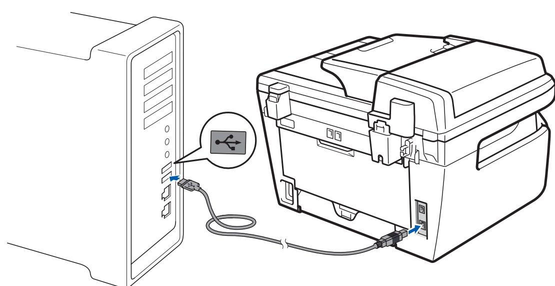
2 ドライバとソフトウェアをインストールする(USB)

USBケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。

1 本製品の電源スイッチをONにする



2 本製品とMacintosh®をUSBケーブルで接続する



補足

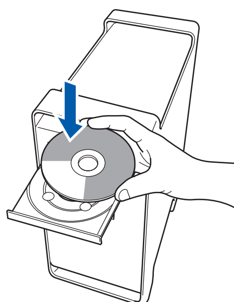
●USBケーブルは、同梱されていません。

●USBケーブルは、長さが2.0m以下のものをお使いください。

●キーボードのUSBポートおよび電源のないUSBハブには接続しないでください。

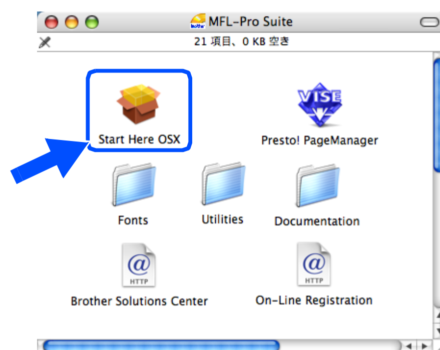
3 Macintosh®の電源を入れる

4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする



5 [Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



補足

PSドライバのインストールは「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を参照してください。

6 [USBケーブル] を選択し、[次へ] をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



インストールが終わると、Macintosh®の再起動を指示する画面が表示されます。
[再起動] をクリックしてください。

7 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する



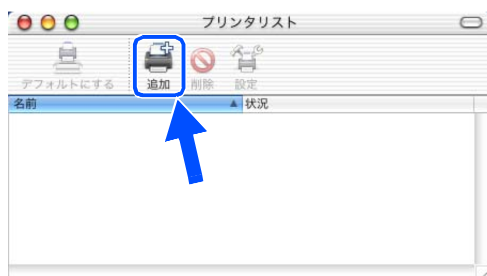
☞次ページへ続く

8　確認画面が表示されたら［OK］をクリックする



OK! Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は手順 9 に進んでください。
Mac OS® X 10.3 以上の場合は、MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。手順 13 に進んでください。

9　［追加］をクリックする



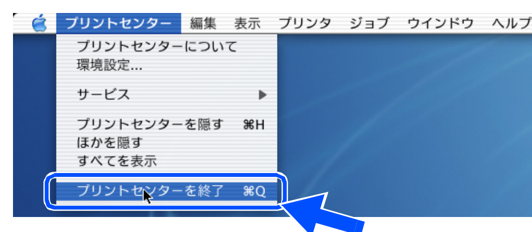
10　［USB］を選択する



11　「MFC-7840W」を選択し、［追加］をクリックする



12　［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択する



OK! MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。続いて手順 13 に進んでください。

13　［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto!® PageManager®がインストールされます。

補足

Presto!® PageManager®をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

3 ドライバとソフトウェアをインストールする（ネットワーク接続）

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項

パーソナルファイアフォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。

注意

ドライバのインストール終了後、ファイアウォールを有効に戻すと、ネットワークスキャンやネットワーク PC ファクスなどの一部の機能が利用できなくなります。これらの機能を使用する場合は、ファイアウォールの設定を変更してください。

補足

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトなどをお使いの場合、設定を変更する方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書、ヘルプをご覧いただくか、ソフトウェアの提供元にご相談ください。

ネットワーク環境で複数のパソコンから使用する場合

ADSLや光ファイバー、ケーブルテレビ（CATV）などのインターネット環境で、複数のパソコンを使用している場合は、本製品を LAN ケーブルで接続すると、どのパソコンからも本製品をプリンタ、スキャナとして利用することができます。

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●一般的なADSL環境での接続例	
公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル ADSLモデム ※ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。	公衆回線（アナログ） スプリッタ 電話機コード LANケーブル LANケーブル LANケーブル ADSLモデム ルータ
●光ファイバー環境での接続例（NTT東日本、KDDIひかりOne、Yahoo!BBフォン光など）	
電話機コード 光ファイバーケーブル LANケーブル 回線終端装置（ONU） ひかり電話対応機器 LANケーブル	電話機コード 光ファイバーケーブル LANケーブル LANケーブル LANケーブル LANケーブル 回線終端装置（ONU） ひかり電話対応機器

本製品を接続する前	本製品を接続した後
●光ファイバー環境での接続例（NTT西日本）	
光ファイバーケーブル / LANケーブル / 電話機コード / ひかり電話対応機器 / 回線終端装置(ONU) / LANケーブル	ひかり電話対応機器 / 光ファイバーケーブル / LANケーブル / 電話機コード / 回線終端装置(ONU) / LANケーブル / LANケーブル / LANケーブル / LANケーブル / ルータまたはハブ
●一般的なCATV環境での接続例（J:COMなどのケーブルテレビ局）	
同軸ケーブル / 電話機コード / 同軸ケーブル / VP(RSU) / 分配器 / 同軸ケーブル / LANケーブル / ケーブルモデム	同軸ケーブル / 電話機コード / 同軸ケーブル / VP(RSU) / 分配器 / LANケーブル / 同軸ケーブル / LANケーブル / LANケーブル / LANケーブル / ケーブルモデム / ルータまたはハブ

補足

ネットワーク環境で使用する主な機器の説明

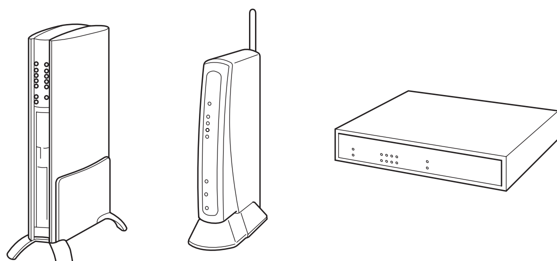
- スプリッタ
  電話（音声）信号とADSL 信号を分離するものです。
- ADSL モデム
  ADSL 信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ONU（回線終端装置）
  光の信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。
- ひかり電話対応機器
  今お使いの電話機（アナログ電話機）やFAX 機を接続する装置です。NTT 東日本、KDDI、SoftBank テレコムなどからレンタルされる機器にはルータ機能が内蔵されています。
- ルータまたはハブ
  ネットワーク環境で複数のパソコンなどの機器を接続するときに使用します。
- VP（RSU）
  ボイスポートまたはリモートサービスユニットと呼ばれ、ケーブルテレビ局が固定電話サービスを行うための装置です。
- ケーブルモデム
  同軸ケーブルを流れる信号をネットワーク環境で使用するイーサネットの信号に変換する装置です。

※ご利用の電話会社により、接続する機器の名称が異なることがあります。

ネットワーク環境に必要なものの準備

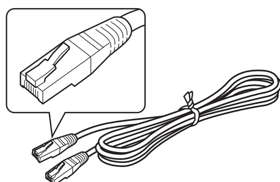
1 ルータ

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭･オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のパソコンから同時にインターネットに接続することができるようになります。



2 LANケーブル

本製品とルータを接続するのに必要です。カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXストレートケーブルをお使いください。



補足

- 本製品を無線 LAN で使用する場合、無線 LAN アクセスポイント（無線 LAN ルータ）または無線 LAN 対応のMacintosh®が必要です。
- ルータの導入・接続方法については、お使いのルータのユーザーズガイドをご覧ください。
- モデム・光終端装置（ONU）などの機器に関するご質問は、提供メーカーにお問い合わせください。
- 光ファイバーをご利用の場合は、ご契約されている会社やお住まいの環境により接続する機器が異なる場合があります。

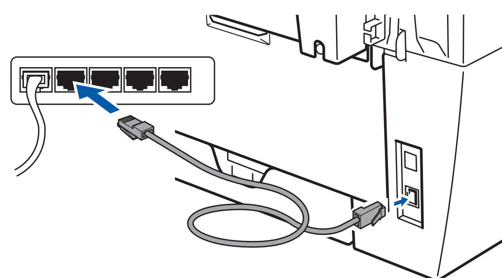
ドライバのインストール

インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。

1 本製品の電源スイッチをONにする



2 本製品とルータをLANケーブルで接続する

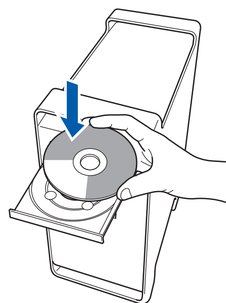


補足

LANケーブルは、同梱されていません。

3 Macintosh®の電源を入れる

4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする



補足

ネットワーク上で本製品が認識されているときは、リストから選択して［OK］をクリックしてください。ネットワーク上に対象となる本製品が 1 台しかない場合は、ウィンドウは表示されず、自動的に本製品が選択された状態になります。手順9からインストール作業を続けてください。

☞次ページへ続く

5　[Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



補足

PSドライバのインストールは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

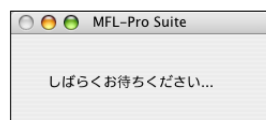
6　[有線LAN接続（イーサネット）] を選択し、[次へ] をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



インストールが終わると、Macintosh®の再起動を指示する画面が表示されます。
[再起動] をクリックしてください。

7　ソフトウェアが本製品を自動的に検索する

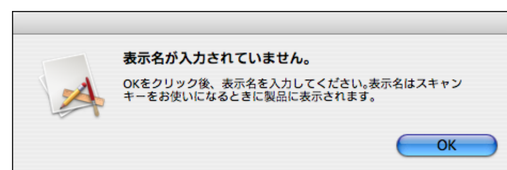


8　ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、本製品を選んで、[OK] をクリックする



補足

- 以下の画面が表示されたときは、[OK] をクリックして表示名を入力してください。



- 「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。
- 表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



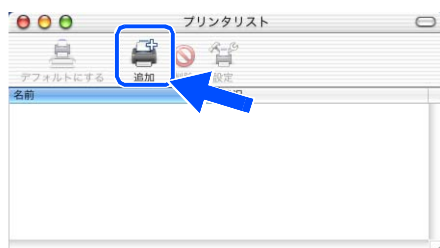
- スキャンキー用のパスワードについて詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

9 確認画面で［OK］をクリックする



OK! Mac OS® X 10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 10 に進んでください。
Mac OS® X 10.3 以上の場合は、MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。手順 14 に進んでください。

10 ［追加］をクリックする



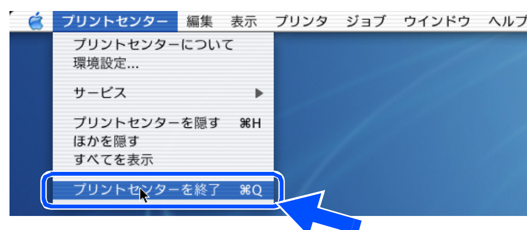
11 下の画面の通りに選択する



12 「MFC-7840W」を選択し、［追加］をクリックする



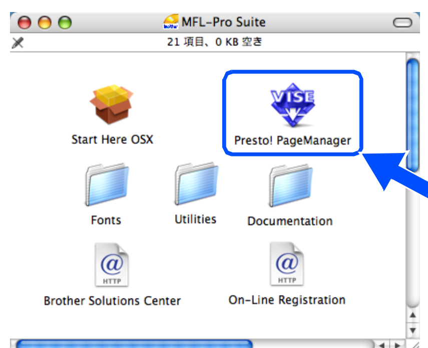
13 ［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択する



OK! MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。続いて手順 14 に進んでください。

14 ［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto!® PageManager®がインストールされます。

補足

Presto!® PageManager®をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

4 ドライバとソフトウェアをインストールする（無線LAN接続）

本製品と無線 LAN アクセスポイントを無線で接続します。お使いのネットワーク上で、本製品をプリンタ、スキャナとして利用できるようになります。

無線LAN環境で使用する場合の注意点

● 設置に関する注意

- 本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- 本製品とアクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。

● 通信に関する注意

環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。

注意

■アクセスポイントの接続、設定については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

■無線 LAN の設定に失敗した場合や、以前にインストールして再度インストールし直す場合は、本製品の LAN 設定を初期化してから進めてください。初期化方法については、P.63 を参照してください。

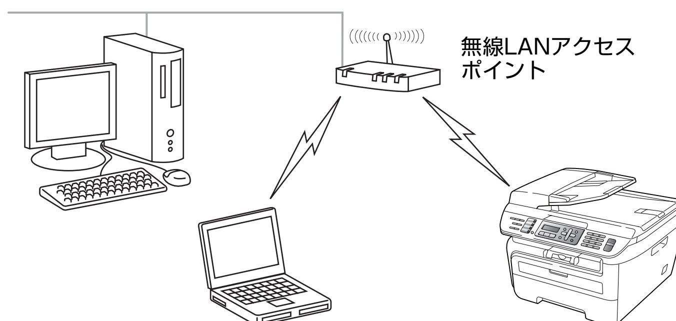
■USBケーブルやLANケーブルが接続されている場合は、本製品から外してください。

■本製品では、有線LANと無線LANを同時に使用できません。

無線LANの接続方法

● インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでは、ネットワークの中心に無線　LAN　アクセスポイントが設置され、アクセスポイントを通じて無線LANにアクセスできるようになっています。



本書では、インフラストラクチャモードの無線　LAN　環境の場合の接続方法について説明しています。その他の環境で無線LANをお使いの場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」をご覧ください。

無線LANの用語

無線LANを構成するには、お使いのコンピュータを既存の無線LAN設定に合わせます。ここでは、無線LANの構成に役立つ用語と概念を説明します。

SSID（ネットワーク名）とチャンネル

無線LANの接続先を指定するにはSSIDとチャンネルを設定する必要があります。

● SSID

それぞれの無線 LAN では独自の SSID を持っています。SSID はアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器に割り当てられていますので、接続する予定のネットワークのアクセスポイントまたはアドホックモードのネットワーク機器と同じSSIDに設定してください。

● チャンネル

無線LANではチャンネルを使用します。IEEE802.11bでは14チャンネル、IEEE802.11gでは13チャンネルまで使用できますが、近所で無線LANアクセスポイントが使用されている場合、電波干渉を生じさせないために使用するチャンネル間を5チャンネル離して設定するのが理想的です。

認証方式と暗号化方式について

有線 LAN とは異なり、通信範囲が物理的に限られていない無線 LAN 環境下では、セキュリティに関する設定を行い、傍受や不正アクセスを未然に防ぐ必要があります。セキュリティに関する設定には、認証方式（ネットワークにアクセスをしようとしている機器にアクセス権があるかどうかを判断する方法）と暗号化方式（データを暗号化することにより第三者による傍受を防ぐ方法）の設定があります。

本製品を無線LANに確実に接続するためには、これらの設定を正しく行う必要があります。

ここでは、本製品がサポートする認証方式および暗号化方式を紹介します。

● 認証方式

本製品がサポートする認証方式は次の通りです。

- オープンシステム：
  認証を行わず、すべてのアクセスを許可します。
- 共有キー：
  あらかじめ秘密のネットワークキーを設定しておいて、同じキーを使用している機器にのみアクセスを許可します。
  本製品では共有キーとしてWEP-Keyを使用しています。
- WRA-PSK/WPA2-PSK：
  定期的に変更されるネットワークキーを使用して認証を行います。高いセキュリティを実現できます。WRA-PSK/WPA2-PSKによる認証を使用する場合には、接続する相手の機器もWRA-PSK/WPA2-PSKに対応している必要があります。
  WPA2-PSKは、WPA-PSK方式よりセキュリティの高い認証方式になっています。
- LEAP：
  Cisco LEAP（ライト拡張認識プロテクト）は、認証用にユーザー IDとパスワードを使用します。

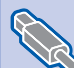
● 暗号化方式

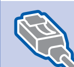
本製品は下記の暗号化方式をサポートしています。

無線LANの用語

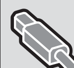
- なし：
  暗号化を行いません。
- WEP：
  Wired Equivalency Protocolの略。無線LANの暗号化技術です。
  無線 LAN での通信は傍受（内容を盗み見られること）が容易なため、送信されるデータを暗号化して傍受者に内容を知られないようにすることで、有線LANでの通信と同様の安全性を持たせます。
- TKIP：
  Temporal Key Integrity protocolの略。暗号キーの更新も含めて、重要データの暗号化を強化します。
  無線LANのセキュリティ保護に使用される次世代のWEPで、WEPの弱点を修正しています。

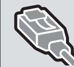
☞次ページへ続く













- AES：
  Advanced Encryption Standardの略。無線LANのプライバシー保護の新しい方法です。
  米国政府の次世代標準暗号化方式で、TKIPより強力な暗号化方法を提供します。
- CKIP：
  Cisco Key Integrity Protocolの略。Cisco社独自のセキュリティプロトコルです。
  キーメッセージ整合性チェックとメッセージ シーケンス番号を使用して、インフラストラクチャモードでのセキュリティを強化しています。
  CKIPはCisco版のTKIPです。

暗号化キー（ネットワークキー）

本製品で使用する暗号化方式において、設定する暗号化キーは次の通りです。

- WEP暗号化方式
  WEP暗号化キーは次の規定に従い、64bitまたは128bitキーに対応する値をASCII文字か16進数フォーマットで入力します。
  - 64（40）bit　ASCII 文字：半角5文字で入力します。
    例）"Hello"（大文字と小文字は区別されます）
  - 64（40）bit　16進数：10桁の16進数で半角入力します。
    例）"71f2234aba"
  - 128（104）bit　ASCII 文字：半角13文字で入力します。
    例）"Wirelesscomms"（大文字と小文字は区別されます）
  - 128（104）bit　16進数：26桁の16進数で半角入力します。
    例）"71f2234ab56cd709e5412aa3ba"
- TKIP/AES暗号化方式
  PSK（事前共有キー）をASCII文字/半角8～63文字以内で入力します。
  TKIPやAESの暗号キーは、PSK（事前共有キー）などを元に生成され、定期的に更新されます。
- CKIP暗号化方式
  LEAP認証用で使用するIDには64文字以内、パスワードには32文字以内のASCII文字を半角で入力します。
  CKIPの暗号化キーは、IDとパスワードなどを元に生成され、定期的に更新されます。

無線LANの設定

インストールを始める前にまず、無線LANの設定を行いアクセスポイントに接続します。本書では、次の2つの方法で無線LANを行う方法が説明されています。

●操作パネルから無線LANの設定を手動で行う

ご使用の無線LANアクセスポイントの設定を確認し、以下に記入してください。

SSID（必須）※1	
WEPキー※2、3	
WPA-PSK※3 （TKIP/AES） WPA2-PSK （AES）	

*1SSID の隠ぺい機能を有効にしている場合は、一時的に無効にしてご確認ください。
*2WEP キーは、次の規定に従い、64bit または 128bit キーに対応する値を ASCII 文字か 16 進数フォーマットで記入します。
- 64(40)bit ASCII 文字：半角 5 文字で入力します。　例）“Hello”（大文字と小文字は区別されます）
- 64(40)bit 16 進数：10 桁の 16 進数で半角入力します。　例）“Wirelesscomms”（大文字と小文字は区別されます）
- 128(104)bit 16 進数：26 桁の 16 進数で半角入力します。　例）“71f2234ab56cd709e5412aa3ba”

*3設定されていない場合は、記入する必要はありません。



■SSID や WEP キーなどの確認方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

無線LANの設定を書き留めたら、以下の手順に従って、設定を行ってください。

操作パネルから無線LANの設定を手動で行う P.54

● 無線LANの機能を使って自動で設定を行う

ご使用の無線LANアクセスポイントがAOSS™、Wi-Fi Protected Setup™、SecureEasySetup™に対応している場合は、本製品の無線LAN設定を簡単に行うことができます。ご使用のアクセスポイントに以下のロゴが付いているか確認してください。付いていない場合は、手動で設定を行います。







ロゴを確認したら、以下の手順に従って、設定を行ってください。

操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する P.56



本製品をその他の環境で設定する場合は、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトをお使いの場合の注意点

パーソナルファイアウォールやウィルス対策ソフトのファイアウォール機能をお使いの場合は、インストールの前に、ファイアウォールを無効にしてください。詳しくはP.45を参照してください。

操作パネルから無線LANの設定を手動で行う

本製品の操作パネルからウィザード形式で、SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを設定します。

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

■本製品の有線LANが既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（LAN 設定リセット）」P.63 を参照してください。

補足

操作パネルの文字の入力方法については、ユーザーズガイド（印刷版）の付録「文字を入力する」を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする



2 メニュー 5 JKL 2 ABC 2 ABC を押す

```
無線LAN
2.無線接続ｳｨｻﾞｰﾄﾞ
```

3 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

```
無線LAN有効 ?
1.ｵﾝ 2.ｵﾌ
```

SSIDの検索が開始されます。

```
SSID検索中
```

4 ▲または▼で接続先の SSID を選択し、OK を押す

```
SSIDを選択
XXXXXX
```

補足

接続先のSSID が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。

1. ▲または▼で〈New SSID〉を選択し、OK を押す
2. ダイヤルボタンで接続先のSSIDを入力し、OK を押す
3. ▲または▼で通信モードを選択し、OK を押す
   ［ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ］または［ｱﾄﾞﾎｯｸ］のいずれかを選択します。
   ※［ｱﾄﾞﾎｯｸ］を選択した場合は、手順6に進みます。

5 通信モードがインフラストラクチャの場合は、▲または▼で認証方式を設定し、OK を押す

```
認証方式
ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ認証　　　*
```

• オープンシステム認証の場合：手順6に進みます。
• 共有キー認証の場合：手順7に進みます。
• WPA/WPA2-PSKの場合：手順9に進みます。
• LEAPの場合：手順11に進みます。

6 ▲または▼で暗号化方式を選択し、OK を押す

```
暗号化方式
なし　　　　　*
```

「なし」または「WEP」のいずれかを選択します。
「なし」を選択した場合は、手順13に進みます。

7 ▲または▼で使用する WEP キーを選択し、OK を押す

```
WEPｷｰ設定
ｷｰ1:
```

キーが「＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊」と表示されている場合は、「1.変更する 2.しない」と表示されるので、1 を押します。

```
ｷｰ1:XXXXXXXXXXXXXXXX
1:変更する 2.しない
```

8 暗号化キーを入力し、OK を押す

```
WEP:
```

手順12に進みます。

9 ▲または▼で暗号化方式を選択し、OK を押す

「TKIP」または「AES」のいずれかを選択します。

```
暗号化方法
TKIP                *
```

10 PSK（ネットワーク）を入力し、OK を押す

```
PSK(ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ):
```

手順12に進みます。

11 ユーザー IDを入力し、OK を押す

認証方式で「LEAP」を選択した場合に入力します。

```
ﾕｰｻﾞｰID:
```

12 ユーザーパスワードを入力し、OK を押す

認証方式で「LEAP」を選択した場合に入力します。

```
ﾕｰｻﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
```

13 1 を押す

2 ABC を押すとSSIDの選択に戻ります。手順4からやり直してください。

```
設定を適用しますか?
1.はい 2.いいえ
```

本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続されます。
正常に接続されると、液晶ディスプレイに「接続しました」と表示されます。

補足
接続できなかった場合は、ネットワーク設定をリセットし P.63、手順2からやり直してください。

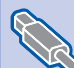


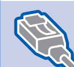
無線LANの設定は完了しました。
続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。 P.57

接続・設置する

パソコンに接続する

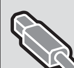
Windows®

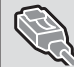

USB 接続


LAN 接続


無線LAN 接続

Macintosh®


USB 接続


LAN 接続


無線LAN 接続

付 録

操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

■本製品の有線LANが既に設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、「ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（LAN設定リセット）」P.63を参照してください。

■アクセスポイントの簡単設定の操作手順については、アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

1 本製品の電源スイッチをONにする



2 メニュー 5 JKL 2 ABC 3 DEF を押す

```
無線LAN
3.SES/WPS/AOSS
```

3 1 を押す

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

```
無線LAN有効 ?
1.オン 2.オフ
```

補足

一度設定に失敗しネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線LAN有効が「オン」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順4へ進んでください。

4 AOSS™、Wi-Fi Protected Setup™またはSecureEasySetup™に対応している無線LANアクセスポイントの自動検出を2分間行う

```
無線接続中
```

5 無線LANアクセスポイントを対応するモード（AOSS™、Wi-Fi Protected Setup™またはSecureEasySetup™）にする

詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。

6 「接続しました」と表示されるまで待つ

無線LAN アクセスポイントとの接続に成功すると、「接続しました」と表示されます。
これで本製品を無線LAN で使用できます。

- 「アクセスポイント複数検出」と表示された場合は、無線LANアクセスポイントを複数検出したことを示しています。
  対応するモードが実行中の無線LANアクセスポイントを2つ以上検出しています。AOSS™またはWi-Fi Protected Setup™の無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直してください。
- 「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。SecureEasySetup™で接続している場合は、無線LANアクセスポイントが複数あるかもしれません。無線LANアクセスポイントを1つにして手順2からやり直してください。
- 「無線接続中」と表示された後「接続 失敗」と表示された場合は、本製品は無線LANアクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。

●操作パネルの「SES/WPS/AOSS」メニューで表示されるメッセージ

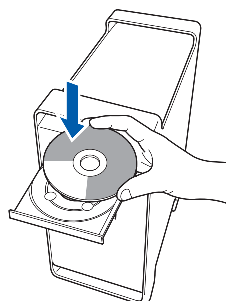
メッセージ	状態	解決方法
無線接続中	無線LANアクセスポイントを検索中	–
	無線LANアクセスポイントにアクセス中	
	無線LANアクセスポイントから設定をダウンロード中	
SES接続中 WPS接続中 AOSS接続中	無線LANアクセスポイントに接続中	–
接続しました	接続成功	–
アクセスポイント複数検出	無線LANアクセスポイントを複数検出	AOSS™またはWi-Fi Protected Setup™の無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直す。
接続 失敗	接続失敗	• 手順2からやり直す。 • やり直しても同じメッセージが表示される場合は、ネットワーク設定をリセットし P.63 、手順2からやり直す。
	「無線接続中」表示後に、このメッセージが表示された場合 「接続失敗」	
	無線LANアクセスポイントを複数検出	SecureEasySetup™の無線LANアクセスポイントを1つにして、手順2からやり直す。

OK! **無線LANの設定は完了しました。**
続いて本製品に付属の CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバおよびソフトウェアをインストールします。 P.57

ドライバのインストール

1 Macintosh®の電源を入れる

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする



3 [Start Here OSX] をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。
インストールが終了したら [再起動] をクリックしてください。



4 [無線LAN接続] を選択し、[次へ] をクリックする



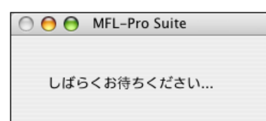
☞次ページへ続く

5 ［確認しました］をチェックして、［次へ］をクリックする



インストールが終わると、Macintosh®の再起動を指示する画面が表示されます。
［再起動］をクリックしてください。

6 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する

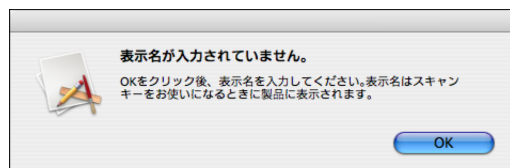


7 ネットワーク上に複数の複合機がある場合は、本製品を選んで、［OK］をクリックする



補足

●以下の画面が表示されたときは、［OK］をクリックして表示名を入力してください。



●「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」にチェックを入れて、表示名を入力します。

●表示名は15文字以内で入力します。入力した内容がスキャンキー使用時に本製品の液晶ディスプレイに表示されます。



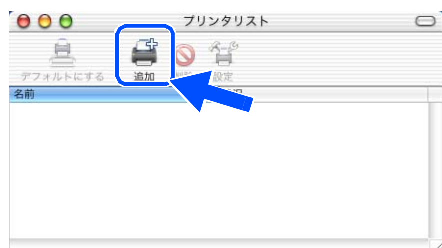
●スキャンキー用のパスワードについて詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

8 確認画面で［OK］をクリックする



OK! Mac OS® X10.2.4 ～ 10.2.8 の場合は、手順 9 に進んでください。
Mac OS® X 10.3 以上の場合は、MFL-Pro Suite、プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。手順 13 に進んでください。

9 ［追加］をクリックする



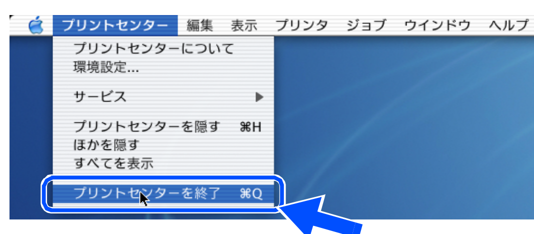
10 下の画面の通りに選択する



11 「MFC-7840W」を選択し、［追加］をクリックする



12 ［プリントセンター］メニューから［プリントセンターを終了］を選択する



OK! プリンタドライバ、スキャナドライバ、ControlCenter2 のインストールが完了しました。続いて手順 13 に進んでください。

13 ［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto!® PageManager®がインストールされます。

補足

Presto!® PageManager®をインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! インストールが完了しました。

ネットワークユーティリティ

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されたブラザー製品を設定するユーティリティソフトです。
ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。
MacOS® Xを使用している場合は、ドライバをインストールするとBRAdmin Lightも同時にインストールされます。

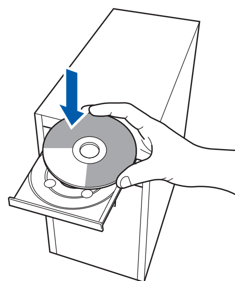
Windows®でBRAdmin Lightを使う

Windows® では、付属の CD-ROM から BRAdmin Lightをインストールします。

インストールする

1　CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

自動的に初期画面が現れます。画面の指示に従って操作してください。

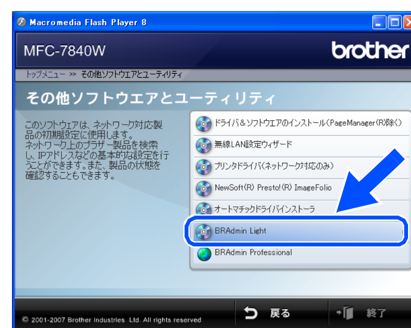


2　［その他ソフトウェアとユーティリティ］をクリックする

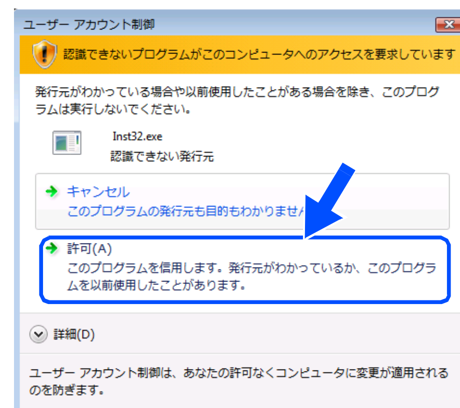


3　［BRAdmin Light］をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



- Windows Vista® で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。

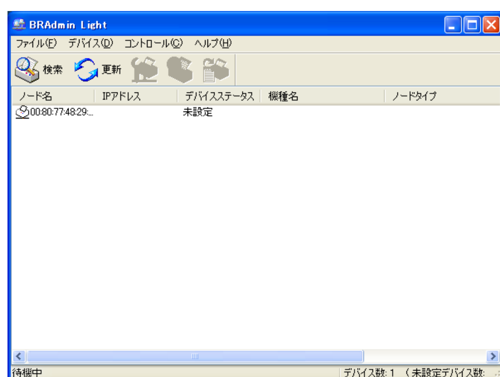


BRAdmin Lightでネットワークの設定をする

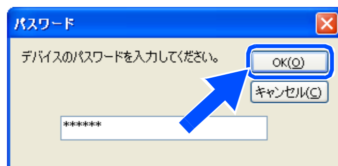
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］を選ぶ

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

2 設定する機器をダブルクリックして選ぶ



パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

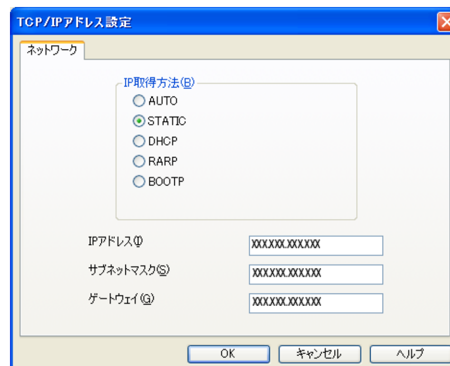


補足

●デバイスのパスワードは、お買い上げ時は「access」に設定されています。

●パスワードは BRAdmin Light で変更することができます。

3 ［ネットワーク］タブを選択し、IP取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する



4 ［OK］をクリックする

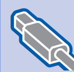
ネットワークの設定が本製品に保存されます。

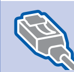
注意

■Windows®で「インターネット接続ファイアウォール」が有効に設定されている場合は、BRAdmin Lightを利用できません。利用する場合は、ファイアウォールの機能を無効にしてください。詳しくは、「ファイアウォールやウイルス対策ソフトをお使いの場合の注意事項」P.24を参照してください。

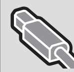
補足

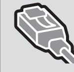
BRAdmin Light を使ってネットワークを設定する方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。













Macintosh®でBRAdmin Lightを使う

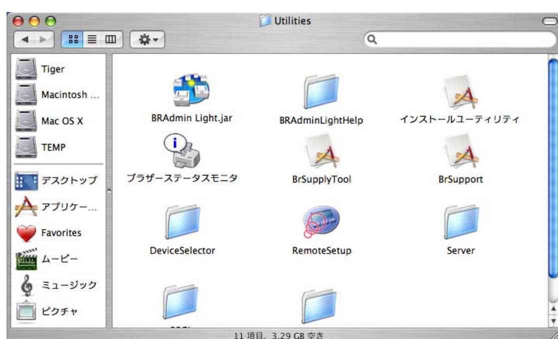
BRAdmin Lightはドライバをインストールしたときに同時にインストールされています。

補足

お使いのネットワーク環境がIPアドレスの設定規則に適さない場合は、以下の手順に従ってBRAdmin Lightを使用して本製品のIPアドレスを設定してください。詳しくは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

1 デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選ぶ

BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。



2 新しいデバイスをダブルクリックする

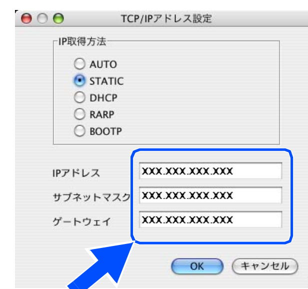


パスワードの入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

補足

- デバイスのパスワードは、お買い上げ時は「access」に設定されています。
- パスワードはBRAdmin Lightで変更することができます。

3 ［ネットワーク］をクリックし、IP取得方法、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定する



4 ［OK］をクリックする

ネットワークの設定が本製品に保存されます。

Webブラウザで管理する

本製品をネットワーク接続で使用している場合、本製品に内蔵されているHTTPサーバーを使用して、Webブラウザから設定を確認、変更することができます。

補足

●お買い上げ時はユーザー名は「admin」、パスワードは「access」に設定されています。

●Webブラウザで管理を行うためには、本製品のIPアドレスを確認する必要があります。IPアドレスの確認方法は、
「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

●対応しているWebブラウザは次のとおりです。
Windows®の場合
Microsoft Internet Explorer 6.0®以降（JavaScript有効・Cookie有効）
Mozilla Firefox®1.0以降（JavaScript有効・Cookie有効）
Macintosh®の場合
Safari™1.0

1 Webブラウザを起動する

2 「http://"ip_address"」と入力する

"ip_address"の部分には、本製品のIPアドレスを入力してください。



補足

Webブラウザを使った管理方法については、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻す（LAN設定リセット）

現在のLAN設定を全て初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

補足

この設定では、IPアドレスやメールアドレスなどすでに設定されているネットワークのすべての情報を初期化します。有線LANと無線LANの設定については、個別に初期化することができます。「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

1 メニュー 5 JKL 0 **を押す**

2 1 **を押す**

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

```
LAN設定リセット
1.決定 2.キャンセル
```

3 1 **を押す**

2 ABC で設定メニューへ戻ります。

- 1 を押すと、数秒後に本製品が再起動します。

```
再起動しますか?
1.はい 2.いいえ
```

LAN設定内容リストの出力



ノード名（NetBIOS名）：LAN設定リストにはノード名が印刷されます。お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

1 レポート を押す

2 7 PQRS を押す

またはで「LAN設定内容リスト」を選択して OK で決定することも可能です。

LAN設定内容リストが印刷されます。

動作環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

Windows®

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home/Windows® XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ

補足

上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Professional、Windows® XP Home
  460MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量
- Windows Server® 2003
  50MB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE 802.11b/g）

補足
- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- インストールを行う場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

Macintosh®

OS/メモリー

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3/128MB（推奨256MB）以上
Mac OS® X 10.4.4以降/512MB（推奨1GB）以上

CPU

Mac OS® X 10.2.4～10.4.3、Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz以上
Mac OS® X 10.4.4以降、Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Full-Speed USB 2.0（USB1.1対応のMacintosh®でもご使用いただけます。）
イーサネット10BASE-T/100BASE-TX
無線LAN（IEEE 802.11b/g）

補足
- USBケーブル、LANケーブルは市販のものをお使いください。
- USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® X 10.2.3までをお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.4以降へのアップグレードが必要となります。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使えるようにするための準備が完了しました。本製品をお使いいただくときは、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

パソコンにドライバをインストールすると、「画面で見るマニュアル」も自動的にインストールされます。

閲覧方法

（1）画面左下の［スタート］メニューから、［プログラム（すべてのプログラム）］－［Brother］を選択する

（2）本製品の機種名「MFC-XXXX」を選択する

（3）「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を選択して、クリックする

補足

付属のCD-ROMからも［画面で見るマニュアル］を閲覧することができます。メイン画面が表示されたら、［画面で見るマニュアル］－［画面で見るマニュアル（HTML形式）］を選んでください。

Macintosh®の場合

（1）付属のCD-ROMをMacintosh®のCD-ROMドライブにセットする

（2）「Documentation」をダブルクリックする

（3）「MFC-XXXX_JpnTop.html」をダブルクリックする

- 「画面で見るマニュアル」が表示されます。

消耗品

本製品で必要となる消耗品は以下のとおりです。

トナーカートリッジ：TN-26J	ドラムユニット：DR-21J
印刷可能枚数 約2,600枚※1,2	印刷可能枚数 約12,000枚※3,4

本製品に付属のトナーカートリッジは約1,000枚※1印刷ができます。

※1 印刷可能枚数はJIS X 6931*（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。
* JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンタ用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

※2 印刷の内容によって実際の印刷枚数と異なります。

※3 A4を1回に1ページ印刷した場合

※4 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

商標について

本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft Windows Vista® operating systemです。
Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、True Typeは、Apple Inc.の登録商標です。
Adobe、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Presto!® PageManager®は、NewSoft Technology Corp.の登録商標です。
Pentium、Xeonは、Intel Corporationの登録商標です。
AMD Athlon 64、AMD Opteronは、Advanced Micro Devices,Inc.の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

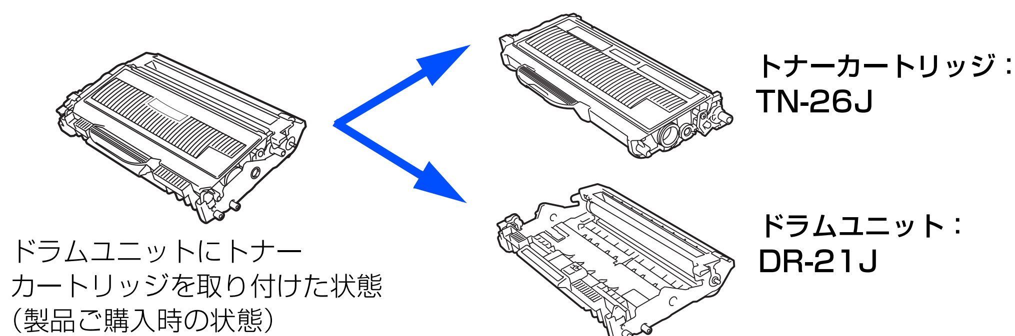
本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

消耗品について

トナーカートリッジとドラムユニットの交換について

本製品は、ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。
トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命がきたりしたときは、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを交換してください。



- 交換のしかたについては、ユーザーズガイド（印刷版）の第6章「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの販売量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、ファクスにより注文も承っております。詳しくはユーザーズガイド（印刷版）ご注文シートページを参照してください。